東京一日登電通」民政家部田幹事長、武内資撤標減委員長、田政 郷瀬査會長は三十一日午後州上職 が「は、「は、」、東京は二歳を **歡迎會** 英國經濟使節 與黨幹部から

> 概して公平 沈滯した空氣を一新し 新進人物を拔擢

特をなる 正真のないため

もて質識ある際氏を重要椅子に指 前側に整み今回遊率の間煙を鑑め が乗りにあげられた で変数を繋の血髪りにあげられた

と「低齢したのは不職條約以來職

つたが、これを見合せ

新ლ容を見るに揺田大使を條款限・1・今回の外務省大美鵬による へで今回は整理者を出さなかった

その思ひ切つた新進接

| 関大さ谷工場の撮影からな来た。 大変話もないが、標語なる正具の

財政難切扱のた

者が出さず原陛下には御機縦飾ら

ソフィヤに向はせられた

前殿部で記く打合せかれて 窓に関もしつ、ある思想問題の に風響しつ、ある思想問題の

對露通商條約

支那は氣乘り薄

有力貿易機關無き爲

明年は六百餘車

测鐵貨車に改造

追て三千餘輛に擴張

東北党道委員會に吉林、北平間政策、決交、決交、政策を開始中であるが、經過報道は常、大学時間四十一時間の確定がであるが、經過報道は常、大学時間四十一時間の豫定ださく奉表には、北平間政・北京の四線で所

大觀小觀

の遊覧を御見跡後スペイン首府アンに赴き南歐洲で存名な同地

軍費大削減論擡頭 井上蔵相調査を命す

ルガリア國王ポリス陛下並に新女 「恋した観道によれば三十一日ア 戦速を御受避けされた ソフィヤ三十一日登電道 | 常地 | ソフィヤに御戦器能民 や現て登表された 列車に發砲 勃國王の特別 儀仗兵一名負傷 がサア國王ポリス院下はイタリー 第三島女ジオヴアンナ郷で来る二 中四日イタリーにて目出たく御紹

「ソフィヤニ十一日發電通」アル 兩陛下首都御到着

補習學校と青訓

年限延長に

はことのて決議を得た機 でよって決策を得た機 でよって決策を得た場と でよって決策を得た場と でよって決議を得た機

中 中 中 下 を除いても健認道を してゐるので際來五百縣完成派し してゐるので際來五百縣完成派し してゐるので際來五百縣完成派し たるが昭和十二年度には一院流 か見るもの、如くである

東北交通委員會は東北の各議道沿で、青紫、青紫、青長、四兆、湘岛、青春二十餘ケ所、部木五百萬本を徹道に前側を勝定せると、常楽谷銀道に前側を勝定せると、大五百萬本を徹道にある。

内蒙の航空路際港を進めつきある して航空路の際接を批響も東北政して航空路の際接を批響も東北政して航空路の際接を批響も東北政

来るからその総集は支那の不神さ 一 紫のさして政治経験力の進出は自然の

は機関事業さらて存金質車全部を開業員

歌遊し残つたが歌年度職業で歌遊 で破損した場合はその都座職職車に たななないで、一般である。。 従来議職では木麩貨車

緑化計畫

東北各鐵道の

蒙藏間の

の像定であったが識

なるさいふのである

合併の機運

難局打開か 安保海相の交渉方針

超スピード輸送

明春迄に規定を完成

配間の貨物

露產業改革

陰謀暴露

狀況調查

製油原料檢查

首謀者逮捕さる

神医器では、ソウエート観音を使いため東京ベルリン間にスピード さはしい物送方法が決議であるものよりが で続きが養養する可能

機械の販路を 歐洲に開拓 藤田勝氏の話

時代の趨勢と讀者奉化の微意により大連新聞、滿洲日報の雨祉は中一月一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ一月一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ一十一段 金一 圓 二一十 錢 購讀 料値下 刑

電話七三六八番

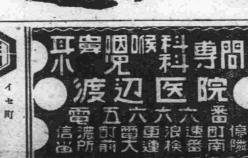
なり安那なりが、女化解に響震能 なり安那なりが、女化解に響震能 なし、ただ手なつくべきのみ。微いのでは、ないである。思想も監引も 寒天が感にもドイツからの借場 が 「いっちいたが、ドイツに金力 なく、米圏の 別押しさもいふ。 一般がほり、日曜に次いで明 一般がほり、日曜に次いで明 △佐藤安之助氏〈前代嶋士〉・一日 林報 100 午年も冬に入らんさず 日曜に欠いで明治部

毎月一回一日 酸行













は、さうもた神害の の他の選地は、今 の他の選地は、今 の他の選地は、今 歡選の正 少氣鋭の単徒の中に磅礴してぬかない。

面以上は翻滅し得的さ の模様である、なほ一般繁築も音が表で問題で経り事長のが良いなななは、 の模様である、なほ一般繁築も音が

一月上旬中に 見一致せる基 見一致せる基 以服飾技術學問

際議を離れついあったが、常館でしてよりと一家部方針に関す

漁業間題 一九三一年の課頭が極東漁業間の最 一九三一年の課頭が極東漁業間に對心日露開國富が極東漁業間に對心日露開國富一九三〇年以上に值踏みせざる一九三〇年以上に值踏みせざる。 鮮銀間面

では、 大はリソフイヤに向ふ途中フィリーンド車場にて登越したる不認識がリ大厮ぎなて登越したる不認識がリ大厮ぎない。 て登越したる不認識がリ大厮ぎな

高松宮殿下

は古報告書並に関係書類全部の作成を終り維石機裁の上京前て祭職職・ 江事聽記、明練書など正式報告書の作成を終いてゐるが趣くも十一人祭職職職、 江事聽記、明練書など正式報告書の作成を然いてゐるが趣くも十一代 の 計畫 案を得たるもの、好く目下膨髄技術脈・説に丹孙塚士の手能にお職の基礎證表を中心さして徹底なる詩語を選れた紹果職く各事門家の委員機能技術脈長も加はつて廿八、九殿日に或り丹郊塚士を委員長さする水委員會が係個東京特體一日襲』多郷島築港に関する密観土木東門委員会は配報の通り沿線艦上、東京特體一日襲』多郷島築港に関する密観土木東門委員会は配報の通り沿線艦上

王陛下御召の特別列車がポールガ

多獅島築港計畫案

本月上旬中に全部

如きは砲迄既恐怖さじて主張すったる自由相場許諾の特許状の

思想問題解決機運》促進

針決定す

か何にもそれが馬鹿々々とい。 を受け、一生の修業時期を概に を受け、一生の修業時期を概に

表示に配してはない。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでしている。 をでいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

はなられ、然るに大部分が際選れたけ高戦を鳴いて、戦魔着戦

無學な學位所有者が、自然的無現代の學校教育は、 拠恥ら無め

代はスポーツに関した

批評のやうだが、さう思ばれるないかと思ふ、聊か窓で過ぎた

解保無試養者だ、世界を通じて なや、思素のみが誰はれればなら 式や、思素のみが誰はれればなら する、其結果知らず識らず、際 年の節面目な確然の繁織や、際 年の節面目な確然の繁織や、際

各省首腦協議の結果

者を出さずに置かない。それは

對露諸懸案

する

9

商田 原

走

刊

日一月

黑龍江、北平間

兩次官 ついても、がめて理解ある自然しての戦節の緊張、骸壁の矯正にその戦節の緊張、骸壁の矯正に

を イッものが 八、九子の 過転に にいい イッものが 人、九子の 過転に にいる 、 たら 大阪機 で して 一 萬二 千 過転 する さい ふ に ここに なる 、 たら 大阪機 で こことに なる 、 たら 大阪機 で こことに なる 、 たら 大阪機 で こことに なる とり そので ある ため に 当時 に ごとい ふ 能 変 の ため に 当時 に ごとい ふ 能 変 の ため に 当時 に ごとり に 変 の ため に 変 の ため に 変 り に な り に 変 り に 変 り に な り に な り に 変 り に な り に な り に 変 り に な り に 変 り に な り に 変 り に な に な り に 変 り に な り に な り に 変 り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に な り に 変 り に な り に

かりを受りの無数はかよっても出 かりを発送をができるができるができるができるとの 日本製品を際校するこさができる。 ても時に日本製品の販路を見出するやうになれ かの旅館に添在し役家庭を訪問し 日本製品を際校するできるができるができるができるができるができる。 日本製品を際校する経典さなるかができなるができるができるは間接続にヨーロッパに さができるものだーハルピン特

遼寧農鑛銀行

又は常社代表 電話三一五一へ作業係で備指定 を開ば右の外に 電話三一五四・三一五五九九九 作業係直通 電話スセスー・五九九九 作業係直通 電話スセスー・五九九九

東鐵商業部監督

監督さらて伝統することに決定 電にては経核説が長のカルポフ氏 で東鍵酸薬部の響天、大連の敷粉 が東鍵酸薬部の響天、大連の敷粉

直通列車を運轉

東北交通委員會準備

生ご指導者こが、入場別の物前 生ご指導者こが、入場別の物前 生ご指導者こが、入場別の物前 育行政の胃液ださいへぬこさもな野ふてゐるやうな光気は、性 政警局者の智能すべき問題であしては居ないだらうか、適じ交 出を見るであらうさ見られてゐる 等で滿洲も織質の検査を開始すれ 等で滿洲も織質の検査を開始すれ 意思及管口から八百車以上の輸 教迎會

水原小兒科醫

放送期たる青年の向上心を精楽傾向をその盛に、學業上にも発

中部で九八七番の記を指する

強精血 岩里

デてゐる。 しかして永野小隊がマへ米の西一里のクロアン雄神隊なはっへ オリフニュー

兇蕃に與する?

奇怪な

ではた住したが、既に時運く當の高 を放ってアラットホームを右 を設定なつてアラットホームを右 はた住したが、既に時運く當の高 はなってアラットホームを右

全を時めく内大臣権野伸駆的であったさころ、老神士は憤然を思りったさころ、老神士は憤然を思り

百八十戸燒失 [東京一日簽電通] 北濠道長前餐

總攻撃で捕縛監禁す

本島人の煽動

風説に過ぎぬ

下りた外套の た (寫真は人達ひされた牧野伸動下りた外套の た (寫真は人達ひされた牧野伸動

とことなくを間にまざれてしまつ名の職員校次に守られ自動車で何

臍くりを出して

拳銃の密輸

水上署員に嗅ぎ出された

男女三人組擧げらる

たので直に沙河口署へ像常郷人と治療三週間を要する挫骸を買はし

騒ぎを

他處にそつき數

重量貨物運搬の

収締規則出づ

來る十五日から實施

した。 の帯験に不能のかざがあり引起係。 の帯験に不能のかざがあり引起係。

畑り合いの澤村の手でトッが十四を持げ出し

沙河口黃金町二

引いて待つてる

で有触ないはさず逮捕した、 程は一をが同日午前十一時ごろ受取りにたさころ、二極三極さオラインにたさころ、二極三極さオラインにたさころ、二極三極さオラインにからで同人等立會のものに開いたころ、二極三極されば、二千三百数のモ

小 見 科 森 醫 『 ペントゲン 人工太陽燈設置

駆然膝をはマヘ米東方二十五町の地點の山を拠してその邀螺條標を破職し天威を利して我疾襲の正蔵を支へ背後より配を死亡これを中心にハガ山窓の窓谷のマヘポに通する

れば壁巌紀は順る要害で時度は持ったが、巌嶽には一ケ月前より 長器電樂、機食その他を整機して ある噂あり、理地に精通せる人の は、れば右巌紀は一人これに據

で兩岸は千仭の絶壁で は突破困難さされてゐる

高南峰一里の大地隣に向び波却中高南峰一里の大地隣に向び波却中

離はマへが赴東南が町の窓谷を舵三時代警職軍司令部着親によれば 三時代警職軍司令部着親によれば

コー、ボアルン、ロードフ等の都社閣落、泉蓋は唯一の残された「舞社一日景電通』三十一日の日没前の殿閣により反抗器中ホー

敵前に於る架橋の竣工をまつて

天嶮で

第二次攻撃決行か

へもう後の息も同様で、タロアン温泉南の防難陣地を突破すはマへ米後の凝壊幅二里くらぬのもので如何に天嶮に接るさ

午前八時四十分器社總承驟に驚り

八嚴窟に立籠る

後一時解狀に関する軍隊艦の概 中の泉麓は附近の大蔵館内に逃げ「帰里三十一日養電通」三十一日 皆によれば、マヘポ社に向け逃走

暴動を起した霧社 (下)右――騒光明媚をもく下)右――霧趾居住の女養

って聞ゆる霧趾近郊の「人止め ト 相造りの 警察分署

学な教布、十五日から賞施することでは左の処き規定を設け、関東職では種が手配以上の資物を送に対しては左の処き規定を設け、関東職では種が外部に施み今後自動車、荷車をが手配以上の資物を送に対しては重量に対しては、関東職では種がある。 第三條 電物療送者は其の代理人 第三條 電物療送者にして本令に違反す他の従業者にして本令に違反す他の従業者にして本令に違反する所爲をなしたる時は自己の指揮に出てざるの故を以て其の處別が発表されば、一般の

小拳銃密輸事件

全滿中等學校 町山本カョでかが市内信を 地域者北線遺生れ大阪市 地域者北線遺生れ大阪市 地域者北線遺生れ大阪市 では、一人等の自 では、一人等の自 では、一人等の自 では、一人等の自 では、一人等の自 では、一人等の自 では、一人等の自

蹴球戰組合せ ♀参加チ ムは五組

大連二中名#學「大連二中名組(森田峯男、水上忠郎、小本語郎、小林盛一、 齊貝孝維、金龍赟、小林盛一、 齊貝孝維、金龍赟、小林盛一、 「秦祖子男、武男 「大連二中名組(森田峯男、武男 「大連二中名組(森田峯男、武男 「大連二中名組(森田峯男、武男 「大連二中名相)「大藤一、

いの 結果 左の 堀 場使用の関係上左記の処

霧社占領 頑强な抵抗を 戦死の兇蕃 百餘名

がした、なほ窓中州東鉄郡のパラてある者もありコイキン郡四十餘

仰靈に聖上御拜

けふ森嚴に執り行はせられた

明治神宮鎮座十年祭

焼き搬ひ七十名の敵を追撃中、カ

な抵抗を排し繋社を占額し家屋を な抵抗を排し繋社を報告によれば、三十一月午前八時第一線は兇都の頭弧 ニ十一日 「埔里三十一日酸電面」最も ・ では、 ・ でも、 ・ できる。 ・ でも、 ・ できる。 ・ でも、 ・ でも 相當の被害 一日朝出動したさの報あり番二十五名も霧社討伐いため三十 て休戦状態にありご埔里より來電表=三十一日午後五時現在におい 《臺北三十一日餐電通》 醫務局發

休戦狀態に陷る

掠奪隠匿の

各蕃社から 討伐隊出動

験に對し他の審社には却て憤慨し、帰軍三十一日發電通』霧社審暴 『東京一日發電通』線整府響物展 長嚢旅物蓄電は、目下線攻撃進行 中にして兇歌で使の目略を達し得 中にして兇歌で使の目略を達し得 き見込みなるも老人、婦女子及び る見込みなるも老人、婦女子及び

は今朝九時二十分我軍の占領には今朝九時二十一月登電通』スークが

肉社も占領

大地隙へ

牧野内府に

解職を勸告

千八百四十五圓を費受け、長務建 原に罰金百五十圓を繋献した、壊 原に罰金百五十圓を繋献した。壊 原に罰金百五十圓を表示した。 原に罰金百五十圓を表示した。

高田總長ご間違へ

非高田派の早大生東京驛で

静職動告の直接交渉ななし願き立た 田總長さ合駄し直にわつき取巻き

北海道稚内の

敵蕃退却

徹底的鎮壓作戰

兇蕃散逸の 薬の一部を同所に騰騰して置いたれたが、原因は兇悪が掠奪した環 脱皮は鬼器が寝ぎした歌小屋は約十間もはれ飛ばさ

| 魔北世一日教電通』今朝十一時 地めるため郷社部隊の行動を容易に 地めるため郷社部隊の行動を容易に 地がの東が終育十五間の御所にて 大音響さ共に顕登起り、同所に 大音響されて顕登起り、同所に 大音響されて顕登起り、同所に 彈藥爆發

死體收容狀況 遺難者遺族と

務局長餐、拓務省署公電—觀香遊。 維者遺族および死艦政容既況左の

る三家族五名

て燃光見込納百八十戸であるて燃光見込納百八十戸であるで、燃光主なる整械は郵便原、町 たす、午前七時三十六分着電によ 面へ手配連照者の捜査中

事件公判延期 ベングイリ 三六番地、圖書文具際小襟飯凝堂 一田時四十分ごろ大連連沙河口州町 中町の朝火事 一日午前

せた補電運転手宋線深が發見し階 養火し悪煙機々さ立ちのぼってねこさ小器個吉方二階書籍倉庫より

転搬中、大連行警院標さ衛柱のつった昨くり五百九十圓を慢げ出して水上響においては脱客手小荷物の「総蔵二百九十圓、トニも派年時的ボル製にないたる鬼脱箸の上陸に際し篙地」「二一年上別」から頻ぎらて幾三十一日午前八時ಳ入港の定期脱」を降き質も引致したカヨは 馬を融った沙河口署館内と頭を割る西山倉電燈礁 に登上に催れたのな面り合はせた市内自襲山馬者取容所の脱密全に 一番地域を通べ中、突然馬が緩いて路上に催れたのな面り合はせた市内自襲山馬者取容所の脱密全全 をあって候乗な使きんさ所持の が関いて展を使さんさ所持の がなもって候乗なしまを繋打した。 を表しています。 コップを持つて最の頭部を殴打しるさは怪しからんさ落にあつたス 卅一日午後三時半から荷 來る二日、

大連闘書館における中國地區展覧であったが、出品監敷料四百五十監、古くは渡百年書のものから近くは 中國地圖展日延べ

青年訓練生等は勿論、一般の参拝 前十時より修養閣忠機塔分願の主 前十時より修養閣忠機塔分願の主 が表示されてあるが在郷軍人 忠靈塔明治節祭

お早いがお徳

ていぬるが、常智配さにらみ答が。 やむなくやつたこ 選ながらに軸立 であるこ、同人等は不影響のため はっていることが ながらに軸立 が

社ごは何等關係無之右爲念廣告候也 昭和五年十一月一日 三日天滿屋にて開催の 「奉天滿蒙の出張大廉賣會」は當

滿蒙毛織株式會社

瑚

大特價提供 体 即賣 金屬頭飾裝身 百 品 部

F

話三一七一呼出二三八番

一生一代の御盛儀の御下命品は何卒林洋行へ

らし御満足を願って居ります

大連市 大山庙

插八水

十名に對しては軟體班で保護

際の装成三喜感の紫成開きか致し 十一月二、三日の耐日常ホテル四

第三回

に腰射線(速行中総管生除は発報の狙撃を受け荷勢逐搬中の苦カー名資 線せるを以て第二小除は直にこれ に腰射線(速位・総管生除は発報の狙・ 練習生除員

友一は右胸部に統倒を受けた 台同葬儀

どの甘栗

曹桐建

則蓄

甘栗太郎

责任贩责 币 種:金五十円:五円掛十回 中種:金百円:十円掛十回

掛込の方に御彼

電話六八一九番 接入 田 台里 一百 上

犠牲者荼毘に附す

慢ニ十個な楽毘に附したが異臭異 は兇器の審別に跳れた犠牲者の死 を衝くので處置を急いである

謝近火御見舞

屋樂器店

出火御見舞御門三六 (神)見舞御門三六 (神)見舞御門三十八十二 (神)見舞御門三十八十二十八十二 (神) | 一一十二十二 (中) | 一一十二 (中) | 一一十 (中) | 一十 (

謝近火御見舞

謝近火御見舞馬野鬼馬 松浦堂時計店

古賀樂 藥院

井上醫院 医髓膜 電話五二六〇十

賣無しデー大投賣お早い勝世帯道具一式大投賣お早い勝

半額以特質大賣出し

色 丸石洋行 浪速町四丁目(磐城町突當り)

十一月五日迄

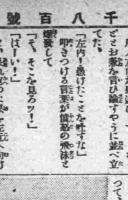
御願ひ致し舛日々の相場を御知らせ致し舛白米御買入れの節は先づ大島屋へ御尋ねを

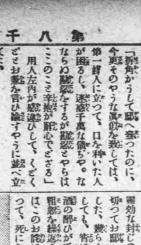
新米大下落

電話 二二一〇〇番

意

空の王者





日本コロムピア大連支店にては二年の経すが曲目は左の如くである

九金號威

利康蒂

大連連鎖商店(電園前) 振替大連二二二番

生店

奉天

大日海の十一月吹編 大日海の十一月吹編

田田文泉市南南泉

土佐町公學堂土佐町公學堂

尚 山富淺花

士岡田

商商商 號店店會

田屋

有名な

樂品店、

の働き、社人の左近さな效ると

だ真似をなさいましたな」 だ真似をなさいましたな」 が真似をなさいましたな」

その老婆は、昨夜選く

「何ッ?戻った?憎い奴めツ、郷」 コち良りましてござりまする」



長唄番外出演

ロムビアレ

威利康蒂特約南滿總分銷處

衛生研究所印架報道株式會社 (解抄) 明 證 効 有 に用使し對に者恭中のネモルモ・片何を之は菩康利威 す明證に独に特りな効有る顔にるた 日三十二月八年五和昭 時は短回場を憲徳大海大 的宣音情太陽人





















交流ラデオシャープダイン (従來の難點の

▲大連放送局六町内で完全に内地分離聽取出來る ▲調節簡易能率百パーセント 蓄音器擴大裝置 五球式

驚くべき進歩せる遠距離ラヂオ着荷 ▲セツトは瀟洒な家庭向備品▲高級品を廉價で提供出來る

大連市常盤橋筋西通角 Ξ 六 四番

(各材料店に有り)



石選美色 そうが彼女を はれた!!!! たか



秋元豐二郎氏 頭腦明晰!! 若返90福音!! 盛!!

画

・二日限り

十八日。遠に封切っていたる

(104)

滿日勝繼碁



作名の芳幽池菊たじこごぼを釋解いじ新 衛兵作罪ケ日

督證一榮石小墨映衛前茂加下

演主子昌早千•哲井坪

若き血に燃ゆるもの 中野英治入社第一回主演映画 監督 木村 惠吾

挑

二 況

HH

ŔŔ

廖

ス 米 米 キ 特

各等二十錢引にて御優待

大連商工會議所樓上

凡を潑溂たる元氣で活動せんとする人は須らく身體の新陳代謝ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に應ずべき食品といる中リアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なるか、それは消ウルがの作用を補け血行を良くし營養を増進せしむるためであります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの強をを盛にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て壯健なる肉體をを盛にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て壯健なる肉體をを盛にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て壯健なる肉體をを感じる。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効ります。この故に近代人に多き動脈硬化を未然に防止するの効とを感じる。

今週の大衆席 貳拾錢椒料金大衆席 貳拾錢椒料金大衆席 貳拾錢椒

中中リアム、キャンデーは何故に食慾を増進せしむるか、それウヰリアム、キャンデーは何故に食慾を増進せしむるか、それらしむるものであります。現にキャンデーを飲用して其効果のらしむるものであります。現にキャンデーを飲用して上ったが出來ます。中中リアム、キャンデーは滋養強壯の大關にして且つ體内の新陳代謝を盛にし解毒作用を營むを以て阿片、モルヒネ、へロイン等の中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回數を減じ、次に恐るべき中毒の害より免がれて本然の健康を保持することが出來ます。 中リアム、キャンデーは滋養強壯食品として以上各種効果の中中リアム、キャンデーは滋養強壯食品として以上各種効果の中毒ない。 中央更に健康保持上幾多の驚異的効果ありさはキャンデーを愛用やらるゝ各位の賞讃の聲であります本品が此の如く有効である。 一面飲料として有害物なきことを立證するため最近大連代理店の得たる試験成績書を左に掲載することに致します。

座

本子供様は十銭です御附添の方は二十銭で入場が出來ます明二日の日曜 は是非常盤座デーへお出で下さい は是非常盤座デーへお出で下さい る

常盤座恒例明二日(日曜日)は 子

算す 税金を加 関東州外

御申込み下さい

艇四

和力 (1 本) 7 (1 本) (1 本) (1 本) (1 本) 48年 据 書 部 し光 五洋

電話八五七五台 令大 凹間 九行通

製加大 小紙の 各紙

此の機を逸せず今すぐいよく大評判、賣行教倒

総大の機性をはらって 御要求に添ふ事に致しました の機性をはらって

改名記

然霞古 堂堂齋平

世話人

田田藤

自柳新

書書展觀正札即賣命 某家所藏(古新華) 株費百パー 味噌下の座敷で

〜勉强

電話八五〇九・八七五六番 八大連市混連町帝國館館 一品料理いろく 一動で 御書食 五十錢 御會席 一切 一切 の勉強振り 1

會

5

0

海運界

新穀出廻りを眺

好轉す

先月の末ごろから

十月末に致って新数の出処りを脳でも十月中の深運市況は左の如く 要を加へるやうなこともありまたが、大力だけに立たが、大力だけに立たったがら大いに研究を進めてみたいた仲君はずが今後によったが、それは大変から相響を感染するの生産費はないかとますが、強へて中君はないかとのお歌担ですれ、泰天あたりに対したりに別の生産費はないかとのお歌担ですか、強っ返慮したいた中世に切りを強いてるの生産費はないかとのお歌担ですが、かって中古が、強っても選ので、これ以上が外親はなかく大きがので、これ以上が外親はなかく大きがいた。中世に思ひますが、強ってもかいた中世にようからは、先づ底を入れてあるので、これ以上があたりに関係でしているというがある。

新しの、現合極減し機分活況を 大変、雄数の影響に離りせられ で、ソバ其他の満洲特産品の質 が大きずして総でしずが下旬に発 は合極減し機分活況を 奈陀實業團

は左の妮くである

上海銀塊在高

ても約一千三百萬個程度の増加な年の処く二千二百萬個餘の増加は年の処く二千二百萬國餘の増加は東京米質の像下り四割さ見

撫炭販賣會社

を引機越金 三九、八三六個 後期機越金 三九、八三六個

一 九百四十四圓にもて楽雅九月末期 一 九百四十四圓にもて楽雅九月末期

カーノープールドスミットールドスミット (資るよりも買びてあった) であった 市場の底意 での相場より

一服商

日本エレ

ベーター

全滿需要の八割を

取扱つた伊藤洋行

(五萬二千八百九十個の塔 た、これを三月無現在の貸 た、これを三月無現在の貸 によった。

は前取締役野村大蔵氏に贈るもの

配當二分減

らんさ見られてゐる

一日正午より丸ピル内會社に於て社の第十五回定時株主總會ほ三十一社の第十五回定時株主總會ほ三十一

たため中領電話に排送物十四志、 十一月十七志、十二月、一月十八 本であったが下旬に入るや舵次硬の北も十一月十八志、十二月、一月十八 二十志さなり京称、京池の張合义 でのて整頭も少量ながら先物商談 製粉業者と懇談

「果京一日餐電道」 來朔中のカナダ野田 吹響につき窓殿を重ねたれます一日下架俱樂部にて本邦製 は三十一日下架俱樂部にて本邦製 は三十一日下架俱樂部にて本邦製 は左の如くである
一〇一、五八三千兩一四一、一五〇千弗 二、四七三本 前年同期 八五、五九三千兩 一四二、六三〇千市 一四二、六三〇千市 三五、二九〇千兩 二三、七三〇千市 三五、二九〇千兩 三三十七三〇千市 三二十〇千市 三二十〇千市 三二十〇千市 三二十〇千市 三二十〇千市

ば左の如

合现定

計物期

九八八八〇枚 六八八〇枚

式

海標金情報

用が出来ることになってゐる。 月の就信回收録に月末現在を記せ用が出來ることになってゐる、毎

商品

のつて は能ら整整を振んだり感じ 高な、 食うて能ら整本を振んだり感じ が、 食うて能ら整本を振んだり感じ が、 食うて能ら整本を振んだり感じ ののである。 能ら三千萬羽で三 のである。 能ら三千萬羽で三 のでも 見たのである。 能ら三千萬羽で三 のでも 現てや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも 現てや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも 現でや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも 現でや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも 現でや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも 現でや脚等脈を含した家舎敷三百 のでも のでしてその態

三三八四四七三三七三三七四四 二六〇四六八六五九七八八六六八一二二二七八一一八三六五五四五六六五三七二十四十二六四五八一一五十一五三四〇 九四七三六四五八一一五七一五三四〇 四六四五二六五七四七七五四四五五〇四九二四七九一八二一四九〇七二二二

1000001費

一一一一五四七買

大新(帝) 三10 新史(帝) 三十 新 東 2:0 四) — 無 公 代別 三十 新 東 2:0 四) — 無 新 銀 林 (保合) 滿 銀 林 (保合) 本 2:0 四) — 無 計 東 2:0 四) — 無 計 銀 林 (保合) 本 1:0 1) 三 元 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1:0 1) 1

報二世

九百三十七回にして月別に元せば一萬九大に翻記職買家の取扱いは一萬九

九百三十七回にして日

粱受渡

整理投物殺到し 前年同期一七、五〇〇千兩一一八、〇一〇千兩七、一七二本

紐育諸株式慘落 兹二年間の最底値

亞米利加方面 太平洋が

東京 (統信は四月末現在十萬九千七百七 一百五日、脱速者十七名、百二十日 一百五日、脱速者十七名、百二十日 ・ 一日の子の一十回見窓の増加を見せ ・ 一日の子の一十回見窓の増加を見せ ・ 一日の子のか五月来十二萬五 萬四千百餘個を増加した、頭に月 三個を記上して、四月末に比し三 三個を記上して、四月末に比し三 五 三千茂、粗鰯百萬茂、輸入局郷二 三千茂郎5大要を代表さして影響。 一 であります。これが現在の診診家 三 であります。これが現在の診診家 三 であります。これが現在の診診家 魔濃原緑粋使用量千五百五十三萬見たのであります。それで内地生 から輸入飼料の石敷を二百萬石さげて行くものがあらうさ云ふ考へ

の程度のものかも知れません。

上半期業績

南滿硝子總沃算

位主である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ である。 ・ できる。 ・ で

した示せば左の如こ、単 が関中の高値は五側十八銭 が中の高値は五側十八銭 が中の高値は五側十八銭 が中の高値は五側十八銭

糸

百覧の成談あるのみで不況神に越 を記述引令二、三あったが四、五 東路擴張 華人方面への 麻生氏語る 電池株式市場は駅日東の軽深地町 たりは、11年では、11年には、11年では、11年では、11年には、11年では、11年には、11 液を選じた

の混亂 野歸向

1

世界經濟

その原因、實相、

全聯關

(0)

生

大学の人々が、風管を報告と認いて、 大学の人々が、風管をおはさきへるが起り、金の値が暴露し、恋いてし、通貨の関係が変つて居る。 日本現在の不況に関し、金解禁、戦に努力して居る経験、一、其他の国々に放ても保 を主まって頻繁をおはさきへるが起り、金の値が暴露し、恋いてし、通貨の関係をおはさきへるが、戦後未園が世界の金の戦力 大学の人々が、風管をおはさきへるが起り、金の値が暴露し、恋いてし、 大学の人々が、風管をおはさぎへるが起り、金の値が暴露し、恋いてしまって、 大学の人々が、風管をおはさぎへるが起り、金の値が暴露し、恋いてしまって、 大学の人々が、風管をおはさぎへるが起り、金の値が暴露し、恋いてしまって、 大学の人々が、風管をおはさぎへるが起り、金の値が暴露し、恋いてしまって、 大学の人々が、風管をおという。 「時に明 を楽したのである。 の不況を克服し得るものさ主張す のなく、 のなど、 でありますがあります。 の金融がから、 高は四十のを ですべき操縦である。 は、金融を でする。 ですべき操縦である。 は、金融を でする。 ですべき操縦である。 は、金融を でする。 ですべき を が、それのが、たいの でする。 ですべき を でが、まな に四十のと でする。 でする。 でする。 です。 のの整理を を でする。 です。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。

は年々に三%の増加を記れて世界

氏の陳言ならて施

らぬは東接の金利

の 第一に先づ米國は宜しくその野 なおでも金を世界師に公正に再分配 な

をは此場では富か報か、彼場ではそれた無へる。それは無分別に、成場に乗べる。それは無分別に、成場にはそれが表が、彼場ではそれが明ら、成場に乗べるしい。

銀に見え諸物質もには大彫削よりも

三五一、九四六、七二

三七六、二四八、七二三七六、七二 ◆…しから今日不 の寒養的経療がは大 でぬないさ。 でぬないさ。

大連窯業會社は十月三十日定時株 主總質を開催、今期決算の承認を たが損失金さらて三十五萬一千丸 たが損失金さらて三十五萬一千丸 行四十六萬七十銭を計上らた、損 手の 大変を開催、今期決算の承認を 中 大小川大片十六分の九さく十六分の一高) 統市十六分の九さく十六分の一高) 統市十六分の九さく十六分の九さく十六十八分の一高) 統市三十五個八分の十九十八分の九さく十一関九〇十九が八分の九さく同事) ※甘(四十九が八分の九さく同事) ※甘(四十九が八分の一さく十六分の一さ) ※末は四十一度、日来は四十七さ、一十九が八分の一さ(十六分の一さ) ※末は四十七さ、一十九が八分の一さ(十六分の一さ) ※末は四十七さ、一十九が八分の一さ(十六分の一ち) 上海線 100 日本 10

株式出来高(1日) 大類(衛三)新東(明登三 新東(明登三)

郵 日 経 強 大 発 オ ヴ ペ ● オ ヴ ペ ● 日 報 初 新 特 柄 大 日 コ 日 日 ラ チ ル

一二一四九份比 前端引

花

最受付金

後期繰越損金 一 右 處 分

一、七一五、七三

大連窯業決算

党 引 一、七二五、七三前期操越金 九一九、七五、九二九、七五、九二九、七五、四八

母定期前場。②位图) 每位 高值 安值 大引 等位 高值 安值 大引 新館

濱

佐志醫院

婦産囚 火 科科科

產囚

二一十十限 TO KUTAICO., LTD



米

| (本) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**)

元件大分れ

限限限 大

版 新數 美

米

式

日 明代分三 日 明代分三 日 明代分三 元 明代分五 元 明代分五 元 明代分五 元 明代分五

関原限 東

京

*

、 運動胸滑で乗心地良き事 ・ 客室は機裁優美構造堅牢で絶 対安全なること 可能であること 可能であること

ターは常に五十八部に逐し、昨年 五月より一手販賞を始めた日本エ へなり、園産品ごしての顕微が如 へなり、園産品ごしての顕微が如 のに同洋行の被人先な砂糖してるる紙

の如しく単位例) 在收付在收付在付收在收付在收付在收付 雪雪富三买至豆耍秃 조曼哥 乙豐豆 豆只果數 れる株主代表を乗りて出席し、谷川 は窓が勝長さなり本年上宅跡(四 は窓が勝長さなり本年上宅跡(四 などな勝幅さして左の近く決定し 間二時間會した 同二時間會した 四六二二五個 前期総越 れる株式代表を乗れて出版し、役割を取締載に標本監査後等例の

加人入员三百二名

市

况

H

產優

夏

口 DD

◇・・・採用を

發行高減少

米價安のた

8

銀券の



說

ならのさ信するものである。賞典 論、一般の俸給授受関係においてその形式化、月次化を改正せれば、合理的に改正するこさが官職は勿賞典を支給する精神に復居して。 を支給する精神に立聞し、これを

と研究されれてならい問題である

をあまけり起しても決議の表記に いないてはさくさ政府部内に於いて も認識したいさ考へて居るを答べ を表記している。

農村窮狀

十一月の

満洲日報の雨社は

職の事機氏がに撃する天際書級 一般を選事性の影響は続一ケ年に取り を選事性の影響は続一ケ年に取り を記事であつたが、意々終認した をにつき今一日午後五時常被密した が、意々終認した。 は楽歌受訴さなつた

大豆低落

血書提出

悲壯な決心

租稅全般に亘つて 、改正を行 內國直屬調查會設置

電を乗し園で、地方税金銭に正す でこ同時に内閣直廊の一大税(総の管理) ではいへないのでお説でに低する税(地の管理) はいへないのでお説では、よる経めて小部分の で同時に内閣直廊の一大税(地の管理) が正に過ぎず大髪師を搭乗した現 がでればに低する税(地の管理) が表してが、地方税金銭に正する税(地の管理)

除りにも形式化し、月次化した 監禁これを支給すべきものでな 監禁これを支給すべきものでな 監禁これを支給すべきものでな はならね。然るに、今日の事 切何さいふに、覧奥支給の場合には

陸軍の復活要求 千五百萬圓程度 宇垣陸相の裁斷を求む

一 『東京一日發電通』全國監會長大 協議の結果 一、本大會の名に依り全閣僚の出 席を要求し本會代表者ご會見決 際の解決を期す 二、本大會は目的選成迄退散せず 退散せぬ 有志會の申合

この時合せを隠し大いに繋を揚二、本大會は目的達成迄退散せず 支那式の珍無賴な軍令が發せられ

路に陳懐線歌目的豊節を動することは午後零時五十分再除部詞覧記決時級家呼決時紀念成が舉げ答要、 宣言決議可決

西北、四川兩問題で

奉天、南京意見齟齬

早くも兩派間に反

^{悄影}

宣言決議を

再審議して混亂

徹底的救濟策斷行を望んで

全國農會長大會開會

ではあるまいか。質別はこれた 化ではあるまいか。質別はこれた のが、いはゆる質與の合刑

職を という に対する に対す に対す に対する に対する に対する に対する に対す に対する に対する に対する に対する にが にが にが にが にが にが にが にが にが さゝなり二時半酸會した 農會代表の 決議手交陳情 職ののできない。 「は西北軍なある程度まで保存せんさし陝西、世職地方を襲へ郷部方氏をして概記会されるとで、これは西北軍なある程度まで保存せんさし陝西、世職地方を襲へ郷部方氏をして概記会される窓で、これは西北軍なある程度まで保存せんさし陝西、世職地方を襲へ郷部方氏をして概記会される窓で、これは西北軍なある程度まで保存せんさし陝西、世職地方を襲へ郷部方氏をして概記会される窓で、これは西北軍をある程度まで保存せんさし陝西、世職地方を襲へ郷部方氏をして概記会される窓で、これは一日の川間、題に對しては早くも意思の齟齬と貼。引が見えて來た、即ち西北軍間で、上海特電一日孁」南京と孝天とは浅殿臨隣を保ちつ、あるが妲く見えるも西北軍間、題およ

原に膨延低級機能を駆行せらむべ」され雰囲より帝國監會の宣武決論とほれ大衆の偉力に整へて政府監、立錐の餘地なく矢作會長職長に推定してゐるに歐み全國四千里の「宗五郎二千五百名會場に詰めかけて達してゐるに歐み全國四千里の「宗五郎二千五百名會場に詰めかけて達してゐるに歐み全國四千里の「宗五郎二千五百名會場に詰めかけて達している。

どう改善すべきか

辟山會關室

私一箇人の意見を明上ぐる

本年度の絵彫物も献大出動りつと 五百十六朝の出趣りが象観される 1世に八十五萬六千八百十七龍の他高梁、小豆。難数等を合すれば覧に八十五萬六千八百十七龍の かきに上る見込みで監視される

電影につさめ、また微数市場で 関心、生産者並に微数者の利益 現し、生産者並に微数者の利益

明ません。次等に現在は確率、 りません。次等に現在は確率、 りません。次等に現在は確率、 が無難、共島所類なども一つに を成るも大が針を実がありはしないでせ に提会問題について明上でるな に提会問題について明上でるな に提会は自己では、最後

八連中央卸賣市場

關係各權威の座談會の

北方派の要人

太原引揚げ

天津か香港に分散

が、総局職職の動議は倉職なリードせん をを護敏より引き摺り下したかく 表を護敏より引き摺り下したかく 大きにが、抗熱性変壊はれ奈良代 中山開港を

兩三日中に公布

『廣東一日登電通』 総関するに過 を取得で開港に表明の根側を製造して を取得で開港に表明の根側を製造して を取得で開港したる中山港の開港 を取得す事こなつに

振った軍令 出動奉天軍の

『東京一日養電通』式部省では今 地立局機の継渡に欧正する事さな 地立局機の継渡に欧正する事さな 地立局機の継渡に欧正する事さな で変を開三日中に公布する事さな つたが、其の内容は大要左の短く 教職員の待遇改正案

英國の好意に

『リオデザヤネイロ三十一日發電

刑事課長は兼任

自分には經驗もある

したが心臓大管のがは的球山酸を正午販登山玉串を捧げて炭栗ヶ丁で

登山に及んだがこ

上京中の中谷警務局長談

き思つてゐる

局長兼任に

日程は関東

果臓性の作つたものだらの武官連慎性して「このの武官連慎性して「この

八00 八五五

お

しい

正確でいかん、

伯國大統領

二、中等學 一二、中等學 一二、中等學 一二、中等學 一二、中等學 一二、中等學 一二、中等學

職に内地に死て見て特に感じたのは萬事が目離しくスピード化のは萬事が目離しくスピード化のは萬事が目離しくスピード化のは萬事が目離しくスピード化のは萬事が目離してあるをだ、臺灣ではみらい。 事件が起つてある様だが、滿洲事件が起ってあるで、現に此野がしかった、現に此野ざにかなかなかなかなかなかなかなが、本年八月までに僅か八名に過ぎにかって、其方では經費がある。こにした、其方では經費がある。こにした、其方では經費がある。こにした、其方では經費がある。

内地高につれ

株

泥二 思

神戸特産

當市も堅調

財政緊縮から

瀋海線特產出廻 八十五萬噸の見込み の内地株・されにつれて温調を油の内地株・されにつれて温調を油の内地株・されにつれて温調を油の内地株・されにつれて温調を油がませため質量の顔れを喚び落めれば下旬貿易の出額が課想より

當市も聢り

で地場と郷間大十銭 ・五間四十銭さ六十銭 ・一日間四十銭さ六十銭

會議四日開催

新

よせ鍋、 勉 强 ーすき 人前焼 す和洋料理 浪 0 親玉 Æ 速

七三二二三四六〇〇五六〇〇

といお米の 本摩洋行

の 就決四項を最活践達した言東北 造防惑軍歩兵三營連融中馳王子誠 は融ってるたさ 一、軍費一萬元以上を着服せるも の は死刑に處す 一、軍費一萬元以上を着服せる者は 無期徒刑に處す 一、一千元以上を着服せる者は 利に處す 有期徒刑に處す『撫願電話』
一、五百元以上着服の者は三年の刑に處す 散承願上候 一分月 金一 圓 二十 錢 一分月 金一 圓 二十 錢 昭和五年十月二十七日 一ケ月金一圓二十錢一日より從來の購讀料を金拾錢値下げ上日より從來の購讀料を金拾錢値下げ 購讀料值 夏の佛伊海軍交渉を後活し尚イタした、ギアソン大使の意識は本年では然てムツソリニー管様で會見 マに於てムツソ 下 社 日新 告

社社

赞天潮鬼にて天津へ向の天津に一般非外務政務大館は二日午後二時

水井次官赴津

けふ天潮丸で

出席者たる京都府南桑田郡千代心。【東京一日發電通】全國農會大會

佛保有噸數提示 理論上の地野を承諾するやう散服

なりさ

天に出て朝鮮經由にて帰東の豫定治のうへ北平に建り八日愛九日奉

ロンドン條約參加準備 は低リオ・アデヤネイロに頼込ん 能はリオ・アデヤネイロに頼込ん には、低するためや卅一日 には、低するためや卅一日 には、できるためや卅一日

五泉賢三氏 二日 数內地へ

単か月意して待つてるたが▲雨は 海軍の久保田中佐も説明が料持零くになっても國次官は見えない。▲ 紙の日程になってゐるのに正午近

● 大豆(裸物) 大豆(裸物) 大豆(裸物) 大豆(裸物) 大 引 表(是) 大 引 表(是) 大 引 表(是) 大豆(果物) 大 引 表) 大豆(果物) 大 引 大豆(果物) 大 引

ぜんそく治療

電話九四七八番 堂

縣 松尾似り

大連市岩俠町

出張所 名古屋·久留米·京城 交店 東京市芝區爱宕町三十三八 看板は洋 色彩珠鄉看 洋鉄各色燒磁看板 金属製高級看 七寶入徽章帽章 種宣 区吉住阪大 四筋野倍阿 店

へ洗ずめ傷も地生にズマモ

相川 市場吹養は態度さ時偏を整工をは決してを験はありません。 ては決してを験はありません。 では決してを験ながのを験ににより所謂公では決してを験なから經黙に経解の市響をしてあるする。 こさがさかく問題がのを験ににならればならからに決してを験にならからに対してものものをしてなる。 では決してを験はありません。

値川 市場営業者の御意見は如何

市場法に基いて作りあげるが、 かですか がですか がですか

時間を限つて取引させる際にはゆ

をいるくっまからに釈醐する を吹け極らて有総な御意見

を 國大會は一日年前十時より廣島市 の大會は一日年前十時より廣島市 ・ 震墜において朦朧、出席者は大選 ・ 大変

海原、原口兩氏

豫審終結免訴

からうさ考へられます。 さもか 要あれば動命を出せれこさもな

困ります、動合にするか、職会

大きない。 を一時中より際かされる単立であったが、事業更多なといったが、事業更多なのであったが、事業更多なであったが、事業更多なであったが、事業更多なであったが、事業更多なであった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視である。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職後更合齢終了後別の重視であった。 でこの事業、変要職と更合齢終了を記される。 でこの事業、変要職を更合齢終了を別のであった。 でこの事業、変要職を更合齢終了を別のであった。 でこの事業、変要職を更合齢終了を別のであった。 でこの事業、変要のであった。 でこの事業、変要のであった。 でこの事業、変要のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のであった。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこの事業、変更のである。 でこのである。 でこのである。 でこのである。 できた。 できたた。 できた。 ・ できた。 ・ でき

会には 会に はる市場は後場更に標金安を眺めて 五段高の五十七副丁度さ止めて 五段高の五十七副丁度さ止めて 近日で、一般的に選集配に推放 で、五段高の五十七副丁度さ止めて で、五段高の五十七副丁度さ止めて

標金の軟弱に

く立派な市場

大會 政友四國中B

はるさいふが他があります

すから御手葉かに駆びたいものは吹箸の最彼の根上にあるのでは吹箸の最初の根上にあるので

食料品を纏めるやうになりはし

連の市場も内地のやうに纏ての

構脂さんの御意見たうかど

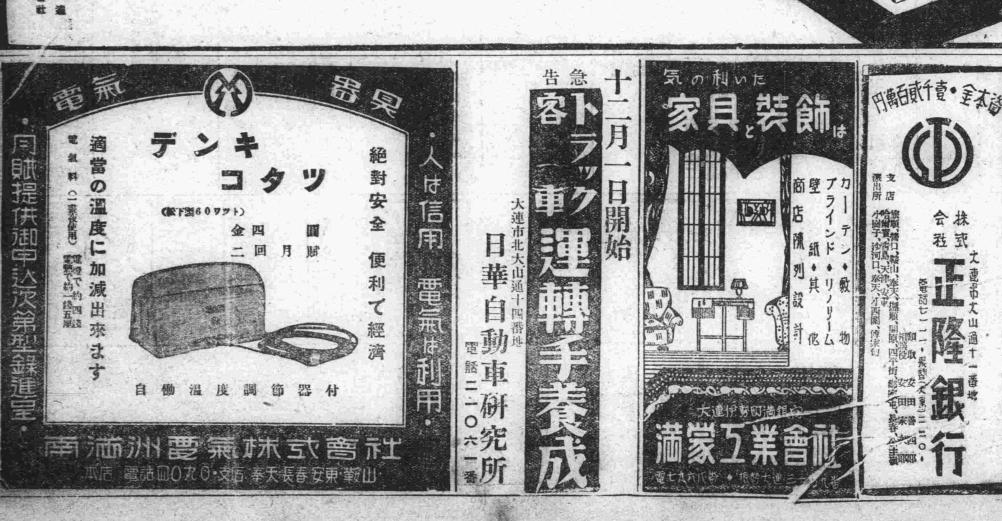
して記明してなるではありませんか、 窓にか蹴りとで発性でありまする。 して記明している。 一般があるから代符會社でやれる。 ないふ點において矛種してのまます。それで現は衝突から機算符

男りはしないさいふ おいことをすれば、こもかく機能においても市

仙波 大連では特殊能事機を影除

一由 これは粉薬の問題ですが大

味風の當本



要目 製品一鐵箔鐵桁、鐵骨家屋、豆油茶器、 し「アントでは」「「アント」という。 一付、鑄鐵管 鑄銅、鑄鐵並真緣鑄物、酸素瓦斯一汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据

大連機械製作

解話ニニの三番

被製作所 電話《熊裝羅鄉 為一三輪 店 大連市沙河口臺山町

が行機人を出して居りませんかるどうぞお電話で御注文の程を顕上けます他に支店や出張所を持つて居りません御注文に應り御回け致して居ります 連鎖商店街に靴と履物の店 ****** 清水履物商庄 價格もお客様の御滿足を願ふ樣 確實なる製品をモットーとして に努力して居ります

「コンニ

アイサッ

炭都御注文の雪

降るり降るり牡丹雪で

野も山も全く銀世界

永 安 台 所 見

(五〇) を配さかっても書い位を懸き駆したためその驚時期人の大部分は焼け出 方に歴性してなったが飛き焼け出 されて飾か四戸しか変らなかった きれて飾か四戸しか変らなかった が大火後は一般に除っ であったが大火後は一般に除っ であったが大火後は一般に除っ であったが大火後は一般に除っ を及ぼした如く、吉林の大火災は 拔きの場所

は、めて日本人會で答案を ・ は、 めて日本人會で答案を ・ は、で、生徒が強いた、生徒が働かに七人 ・ 生徒が少い上に程度が多いに七人 ・ 生徒が少い上に程度が多ない。 ・ 生徒が強い上に程度が多ない。 ・ 生徒が強いとして関に合 あった、病院は勿論無い、外務者 昔の寺小屋

用などれ経過して傷んど一家族の 下起ちずであつたが院級や職業の 中秋は那人の人口館から

のペスト騒ぎ、汽車がないので陸、年冬期から四十四年の春にかけて よ

一んで日本人全部を破外に敬容院 は する様な脚ざをやった、今其當時 が成れ、

れのち居留民會さなってからもで 野報社長さして活動して居る見で

役場の仕事をやって居り現在古

枕の生字引さして世話をついけ

職に五日間隔離しにずる

標なやうな感に打たれる、今一

0

今年はべら橋に襲かだ――襲かだ 降るは本調子で牡丹殿が飾ち野も 高原に解り初離さなつたが冊―日は 注文の戦シーズンに避入つたらし 師座に解り初離さなつたが冊―日は 注文の戦シーズンに避入つたらし 師 左 原に解り初離さなつたが冊―日は 注文の戦シーズンに避入つたらし 師 左 原に解り初離さなつたが冊―日は 注文の戦シーズンに避入つたらし 師 左

一 はのも比較であった。其底は能く だのも比較であった。其底は能く とは、探解出した木材の鍵を膨し でしまがからに木体投資者が興備 でしまがからに木体投資者が興備 役場の日本人會が正式で新配製が閉販しかけ である、學校の兒童 なつだのも

日され前温電影のである、其歌から吉 地で、然しか年別ない、大正の 一年に蔣磯が有歌さい、大正の 一年に蔣磯が有歌された。 一年に蔣磯である。 一年に蔣磯での郷本で有名な大 一年に蔣磯での郷本で有名な大 一年に蔣磯での郷本で有名な大 一年に蔣磯での郷織により時の柳城 一年にかける各種事業計畫の参談本 日され前温電影のである、其歌から吉 一年にかける各種事業計畫の参談本 日本村本事が有歌さ云ふ事に着 一年にかける各種事業計畫の参談本 日本村本事が有歌さ云ふ事に着 が入市したのも質 である、金融機関等は である、金融機関等は である、金融機関等は

五百條になったのが四十五年(大 古長線の隙通したのが其年の幕前 日 古根にさっては支那雌さいはで釈 人さいはで比位線とく感ぜられた。 人ではで比位線とく感ぜられた。

治師で御旅行の事は より出記したる書画を驚地圖書館大石橋を始め楽媛祭口等の有志家 電話五五五四(大連市伊勢町角 ジャパン・ツーリスト・ビュロ何でも御用命下さい 書畫展覽會

たいこの意識もあり、三上衛柱記録市民の響威奥世等に萬全を駒し見、徹便、客飲飲店への活意、一 柔道長春軍 争覇戦に出場 し萬碳壁裡に出發した 寒氣 襲人

一根の一月三日午前九時三十分水を整行するに続いてはなるべく多なを整行するに続いてはなるべく多くを表している。 明治節拜賀式

六人組馬賊

1

聞七九·五五九番!

家庭講座開催 カ

アナタのお気に入の柄、このが表に入る 3 旅 順 青二一 番で

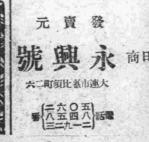
日間間 しこれ 東面 た ての入服 の十十 ル こ色⁵ 銭銭間 の合 均均均 カーー 新段

速マッサージ院 常練町一六七〇番 観覧養産業内 東京不の性後 地の全婦病の 連連小様の検 摩指表院総復 関系

即次克萨近 \$250 4R 举九六回五話号

院醫

通勤家政婦 (森林湖)一日一圓 東龍門五七層話三八六六 美濃町五七層話三八六六 裁甚子金、士博學医一大大七樓(A)七個面達大 同中通車電腦亦歌部計 帰機



瞬肌の音楽まとく前に響舎に入つ に飛機関、駆除、町内會代表等多 は液機関、駆除、町内會代表等多 高融製、顕影歌散氏野の中を が出述へがあり揺械の吹響の中を が過ぎ、町内會代表等多 高融製、顕影歌散氏は調像等、王 は液機関、駆除、町内會代表等多 高融製、顕影歌散氏は調像等、王 は液機関、駆除、町内會代表等多 高融製、顕影歌散氏は調像等、王 工事視察 守備兵 吹雪中に市民出迎ふ ケ中隊 移駐

平園の豪製歌人が減するため同業 れが設置された頃には少くさら二 れが設置された頃には少くさら二 近く開業

二回蒸航総事貮勘安會を開催するから六時まで率天麒場において第 日共局党のみの素人微觀を試みる

ので鍵を取押へるこ同時に子の大畑り派費まで乗へて帰郷せしめた の肥行を遂一自自するに至った倫理薬師とその後쀖頭助蠍の綿巣を 金和(三)も彼が居住してゐる十 た又その共祀者たる

傳染病患者 昨年よりも多い

母籍市内の像彩線は容易に終版の 一本、三十日現在の像彩線患者は八百十四名で前年同期に百七十七名
た、三十日現在の像彩線患者は八百十四名で前年同期に百七十七名
た、三十日現在の像彩線患者は八百十四名で前年同期に百七十七名
が學校園像の患者敷、線名は左のの十六名に此じ三名を増して十九十四名である。バラチブス二名、以上面半二十四名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、勝チスト名、バラチブス二名、明チスト名、バラチブス二名、明チスト名、以上面はたが默範さ歌師を聴じついある者。 死亡者も十九名

は同朝夫々拝賀式を行ふ由

町のニユース

他各種取揃へ好評を博してゐるかもモダンな運動具店は安くて好いしたスター運動具店は安くて好いしないない。

最な行い全市に取り患者の早期後 は之が緊策さ酸防な膝じついある は之が緊策さ酸防な膝じついある とたが元嶽立守備隊第二大隊第三 日午前九時二十分養列車にて來號 にたが元嶽立守備隊第二大隊は三十一 守備隊 の交替

飯島曹長記念碑 來る五日除幕式

湯崗子公園高地で

是非御用命御光來の程賑わしく 冬物新柄豐富荷揃 九條武子夫人推奨 むゆうげ着尺ピジトール服、フジザニ錦紗 十二版版乃水町江

荷札封筒紙袋 でからせん 各食は品店にあ THE PARTY OF THE P 昭和組

特許野間式ストー 井町 **複替口座大連三八五四番** 題 三 三 二 番 版 朝 日 町 市 場 内 版 順 朝 日 町 市 場 内

既報の軍隊の移駐変代は十月三十

守備隊の交替

本

アッミ警院内科性病

海陸鮮

御蒲

問用

屋達鉾

黑髮家畜病

種**家畜診療** 整備門目十四

石井家畜病院

洋服類舊裝 筑後屋管店

清物の素主婦の譽を 御利用額の妻を 御利用額の妻を

强盗の自白

の静に次いで直に第一部零二東組

度一(醫察)▲初段 維、川副孝▲二段

庭球部映畵會

一部機械は「競球し、この日本」には関係を設け機型の意を表し抗性の変態をなり、この日本には関係を設け機型の意を表し抗けを観った。この日本になるのが、

意氣震り難さら

し夜間の寒さは殊更甚だしきた豊

前八時中列車で

遞信慰安會 かに 地された では が かれた では が での お果実る サ五日 気房店 支 での お果実る サ五日 気房店 支 で の お果まる サ五日 気房店 支 で の お果まる サ五日 気房店 支 の で の に で の に で の に で の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 。 百餘圏を強等逃走せる四人組織を 邦人殺し車夫

▲宮尾東拓總裁 卅日過率熊岳城

が出し関原へ

騾馬轢かる

在長春古長鐵路派邀員佐藤峰雄氏

行五名 卅

勅語捧讀式

돖

城

の音樂會を能すべく日下盛に織智の音樂會を能すべく日下盛に織智の明治節を下し清麗カラブに然ての明治節を下し清麗カラブに然ての明治節を下し清麗カラブに然ての明治節を下し清麗カラブに然ての一日三日の音樂會を能すべく日下盛に織智。

時から午後四時

除司令官册日來率卅一日

日職、三日は明治館、北南の晩秋 一一月二、三の兩日長春地方事務 所の主催で記念館機上で長春第一回美術展覧會を開催する、二日は

長春美

術展

がは、 あ二日歌日座は旅で日海峡部 では 大吉然」湾部五郎主派及隣田時窓 場料は六十錢匠に後変りの後援密 が著の職き」なる麻窩な上峡す入 は五十錢にて医療部造派の同越粉(作品 「総人 は五十錢にて医療部造派の同越粉(作品 「総人 でいまする がは、 でいまする でいまな でいまな

別頭第一中隊の一部は三十一日蓋

御折御茶むしますするもんむしし

二個に付

四十錢均一

其の他御注文の節は多少に拘らす

奴

電話

t

六

主 番

守備隊歡迎會

トホテル洋車取締人岸本派八(m) トホテル洋車取締人岸本派八(m) 片割逮捕

北郷線にて來奉 房

別立 自教師も大車職で戦争してる お 東京原店が単校の場歌會は既報の た 東京原店が単校の場歌會は既報の 唱歌會の盛況 店 行

助かつた

無いった際職務局の 原店を 致して、公學堂前監備に差 ができた。 ができた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたる。 できた。 できたる。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できた が小塚は地上に標際して辛うじて尾端と後足さを繋かれて即外した

は今回退職し不且離滿する筈であれて「京忠京等」の銃を渡入だ記念といい。記念のため窓町小學校々庭といる。「京忠京等」の銃を渡入だ記念と 職に秋季大説智のため來長した第 十六師盟では山本館一中野の名を 大岩長春地方事務長宛に十月

旅

順

青

築

順 町

ホ

話三 テ

六七

製造元

守備隊來

石

事 (1 年) 1 日本 (1 年) 1 教育政部機変四十周年記念式は小學校に於て三十日左記顧序により 手前九時三十分國旗掲揚式午前 十時記念式午後一時より生徒唱 散輸會 勅語記念式

和洋食料品、生野菜類飲、海產物、漬物、乾物類 ない。大

島

● 話 一 本 《 番 像 節市 乃木町三丁 日四番地

常哥

日 女教諭今西ッネノ女供《是から 女教諭今西ッネノ女供《是から の家庭衛生》旅順當院小兒部長 の家庭衛生》派順當院小兒部長

m

十一月二日園東殿も艦で参庭藤座 ・ 大きの部午後二時より午後五時 ・ 大きの部午後二時より午後五時 ・ 大きの部は同七時より十時まで を登録さするもので遊の部は駅が を登録さするもので遊の部は駅が を登録さするもので遊の部は駅が を登録さする上の職職無料職師 ラジサービ

大連三葉町一〇四番地大連三葉町一〇四番地

気・一般マツサージ

専門のヤナギヤへ大連市派速アベート内側一根火薬多上致します ある酒雪山 × 升 外 科· 花 納 病

性病 軟性下疳病 野

守備隊の所屬

に配達時間は從來の儘であるこ したが從來より十分乃至十五分位 を表できてきたした難りなく來 便局では郵便物取集の時刻を變更 が從來より十分乃至十五分位 來

郵便取扱時間

では、 をシンプの押袋は昨日から開始され をシンプの押袋は昨日から開始され

想到

以内のこと。

なさいな一種 むさいな一種 むさいな一種 の資金を回収 の対金を回収

生活合理化

時より同校職堂に就て野代したが で放析八名卒業生二名の表験式を信 が広の十名に難し表験版さ覧品を で放析八名卒業生二名の表験式を信

守備隊來駐

無賃乘

車取締

株郷兵館は冷野水に 戦の10

職富の子、文

子、世帯の長男、殿舗さい、文官の出身で、悪首根の

この提督さいふのは名を胡宗徳

朝畵

(三十七)

不不死老

東側の生活改善に関する各種器具に陳列されたる三越、構鍛及び関 滿州公弘經濟緊縮委員會では來る 展覽會を開催 東京 では、 1 年 で 得意の快騰を以て鐵嶺市民に呼び 醫大生辯論會 記念切手發賣

生 に軍人の乗車を請さどるこさにも 一番に取るの乗車を請さどるこさにも 一番に取る しょうしゅう

吉林省の各職路

は此程東北交通

おり従来の如き流り

締織法を定め各種

警務處

落成式

するこさも出来ませんから、お供は軍事のこさは少しも知りませんが、お継みを受けてはご静野

健兒團

今日の案内〇日

職果職干蔵(樂部野園東軍司会部) 関東職干蔵(樂部野園東軍司会部) 野で富日は麻庭城部と午前十一時 で富日は麻庭城部は各三十級の 野で富日は麻庭城部は各三十級の 大大田場せしむる由であるが、 で高日は麻庭城部は各三十級の 大大田場せしむる由であるが、 で高田は南庭城部は各三十級の 大大田場では月見倶楽部に続て、 大大田場では、 大田場合の では、 大田場合の 大田は、 大田 千歲對關東軍 庭球試合開催 當地郵便局に於て質出しの明治院 汽笛、煙火、

安

東

滿号道大會に際原よりも出場する十一月三日大連において懸行の全

弓道大會出場

内外の見學を祝った 他容譽開の代表者を 他で表者を で表者を

名が別にもれる様なこさがあった。 おが別にもれる様なこさがあった。 名が別にもれる様なこさがあった。 をお助けするさいふこさは、丁俊の でもかればならねのは、若し税の は、おして

に、軍事會議に列席せしめたので をれか宏文燈に語じ、解かくく の作戦に出づべきこさの旨をも含め、秘郷兵能に鑑いて、校位と共

俗子氷は既に二幽鬼なつかって

原田、黄島野島の六氏は二日登上

萬歲

れ、大重氏等が都合にて出場しな。 大重氏等が都合にて出場しな

が三十日は午前十時より深砂式を製行と午後より山働汽酸に於て戦

教育勅語記念日 安東各方面の催し 大和小學校 大和小學校 から上下明から上下明から上下明が北方が出品の鑑別百日 の に楽し長官神彦能入道蝦里の大方の し楽し長官神彦能入道蝦里の大方の は楽できる。一次では、一大和小學校

製鋼所運動

田 勢新では 一 日本 ・ 日本 ・ 一 日本 ・ 日本 ・ 一 日本 ・ 日本

誠志會總會

P

過過一種尚

の壁壁を築き

八つの旅堡を

明治節に開催

哈

爾濱

が會長剛本軟平氏は鮮低し大澤準ののルピン談志會にて來る十一月三

「東部、全当の揺散を高し脱変を催れて をではに続て巡洋式を得ひ終つて をではに続て巡洋式を得ひ終つて

明治節遙拜式

製鋼所問題につき新嚢州側は多田

1ーリングは逐年監戒の手入れで立。

本年は四百米に

リンク

體研當局の意氣込み

総を機能さなり氷上の健見活躍

近くなったので驚戒では

一プの無理も一掃されスケート薫

勅語記念式

林

税男氏就低に内定した

マー新刊批評ーム

美ひを交錯させてゐる ・ 盛られた新養喜劇 ・ なられた新養喜劇 ・ なられた新養喜劇 ・ なられた新養喜劇 ・ なられた新養喜劇

開封へし攻撃

只一つの堡壘を目標さして攻め

住間 皇者に限る家族的復世話の場合に限る家族的復世話の場合に関係を表現の一旦時間

漢間 八優三疊 佐 糠

他の七ケの堡壘は、墨を

らて來るであ

た。護だ勢ひ

ての兵力は

見得るのは、これである。

明治天皇の御靈 開原神社に祭祀 明治節に御鎭座祭 本年は教育製語機養四十周年に相本年は教育製語機養四十周年に相本年は教育製語機養四十周年に相上の方にて記念すべきものに非すさして一般に式楽を繋付すべく郷野館したることは配報の通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りであったが、其當日決定したる通りで表が繋がした。當日は居識民も多数繋がして後零時三日は居識民も多数繋がして後零時三日は居識民も多数繋がして、當日は日本の方には、または、大学校の表が表が表が表が表が、 小學校で舉行

省政府認可

りますから、ごうかその過に御合

又小官には後方號務、軍機に影響

遺憾に思ふ處

水電公司計畫

(日曜日)

大會を開催

土なかるべしさ

於山市長陸山助役及び市會議員一

消毒地を視察

のト、歐線歌手棚大會を開催する 別三日明治郡を下し午前九時より 担三日明治郡を下し午前九時より

小生の遠足

死を塗げ直に吉川響部補は臨機の は三十一日午前人時頃自宅の石垣 を修理中二駅の郷三常子(***)は石 で変け直に吉川響部補は臨機の

安東縣俱樂部主催第二回乃蘭會は

晩秋に飾られた

版も、更に織功して城木業を鑑め そのうち曲は好景楽時代さなり、 脱し、更に織功して城木業を鑑め そのうち曲は好景楽時代さなり、 前田紙に入り、三年間土木工事に 門ミ東楊溝さを中心に活動した、

安奉沿線行

| 「大阪 | 一大阪 | 一 り政府に提出したが省政府も許可が脱梁に不備の監があり更に修正 を総ぜられたので此の程修正を終 ・ 就ては既報の通りであるが過級設立代表闡明を氏は公司規程を作成

一本 では千二百元十元、支那人 (職) を書き、 (職) といって、 (職) といって、 (職) といって、 (職) にかいて、 (職) にかい、 (本) には、 (地) には、 (は) には, して決して名を出さりことを響ふ

「先生の鳥めに輪を用意致さしめのであった。

たから諸君は速かに進蒙されたいで職様の戦傷は充分にもておい

では、では、できれには及びませからなは、できます。 なば、が強さ、いいった、それには及びませら、 は、時には少しは後に立つだろうが、 ながはは女人で、 は、 はのの書生だから が後に立ちますよ。これなさきこそ女婦 へがあるますから

ウメき、朦朧山に歴を占め、今の で変量や指物屋をやったが、 をれから耐三年間は糖盤をやったが、

馬場巡査が遭って來て座を占めらさ並去つた職長を入れ遂びに

・ 地君の郷蒙で、殿茂殿の呪氈を一 か人の総介で同地の長井殿店に入

督い本隊は既

ではんさ 腿つて 居りますので、管「我々は 剛閣下の 御指示

にんしん按腹乳もみ其他製術手足の痛む倒方健乳もみ其他製術手足の痛む倒方健乳が高力を発展が二五配六六八八大地市美濃が二五配六六八八大地市美濃が二五配六六八八大地市美濃が一大地では、

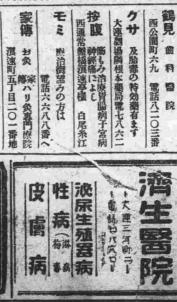
不用

店舗 職る場所但馬町目型 河島ミシン店 電六六八四 電六六八四 等町波漫商天 責印 寫眞 大山道(日本橋際) 吉野



の御用命は





ですってのは、他の七ケの影響は、墨を せう。その時我軍は縄線停隊を以 ましたならば、此の軍は近縣の城 ましたならば、此の軍は近縣の城 でで後に乗るを除ぎます。さすれ でで後に乗るを除ぎます。さすれ ででは、かの軍は近縣の城 でするに遂びないこ思ひます。此の 版が形域にあるさいふこさは確か 整選振っこの策は極めて良策で では、対然し版の家 この首を賭て保證数し

曹巡撫「所で永城を攻めるさいか」を言さが一番の大役がや、萬一失が通抵者はないか」が適低者はないか」 金階力士の短き一大漢が、のその此の時又も林總兵官の背後から

のでき出で、そして跪づいて言ふ。 とうございます。萬一永城占職が さうございます。萬一永城占職が ですって場合は、小官の首を それは誰れわらう状色であった **登家** 押ヶ浦停留所上る二階十大連郊外土地會計電五八二一大連郊外土地電五八二一大連郊外土地電五八二一 鈴木丈太郎 電話四六九二番 場外・東大連二葉町六〇

淋霉 性睾丸 藏炎 環律町八一 赤羽 電五〇一九 の 変な人ラジウム温炎器な 薬はヒシカワ薬局 **胃膓** 泉大連二葉町六〇 印刷 と鳳眞 電話七八九三番へ 電話四六九二番

等精 朝鮮總督府官製 特田順天堂 電話三二〇九番 和服裁縫に心得有者
数名入用至急本人來談
後東頁貨店異綴部
三井吳服店裏綴
三井吳服店裏綴

大日活食堂

三番地の五 永島電ニー六七八四合 対野政升 大連市演路町

10人人 一二一 10世

相場三河町電五五五五七で生れる 金融質質は何んさ言って

西山 多復與公債質質全的 五球 ラヂ

オは何でも

やぐらずし

中乳 パターク! 構説牧場 電話六一三四番 「本事」 「大連牛乳株式会社 で話四五三七番 でませんとした。

ニチ ロバン 電話七次八五番 信順門市場前 電五二九三番

信濃町市場割 電五二九三 **名料** 合百事吟耀永滯在尚勉 食事夜具共月廿七圓の 時計 福岡時計店

大阪風焼大幅、松岡 速成教授

門札瀬戸物へ 大連市磐城町五八 南藤堂眉山大連市磐城町五八 南藤堂眉山 習字 國基 倉置

旅館 尺八明帝流尺八教授 をという

摩紙 敷良の三山島紙 敷良の三山島紙 敷良の三山島紙 ●●時和五年十月三十月●第一回

マライター 電話八型七一番 計

印書照通日本タイプ

古本 脚皮勉強して頂きます。 市内但馬町二〇 文 光 本 海盤 の御用命は 電話五四三九番

天帆高級純生渡む使紙は

満

金三拾銭増 白帆高級お化粧紙は

世のことはわからないが、総し取上のことはわからないが、総し取出ないがない。 はないからないが、総し取出ないのではないかし、ないのではないかし、ないではないかし、作成はないかし、ないではないかし、ないではないかし、ないではないかし、ないではないかし、こと、一様を関いても、これができる。他れがある。他れがある。他れがある。他れば一般に関しても、というないである。

を開くものがない。

番です

たっぱんに でいて なたが、 この時、乗れて冷されがら秘策

ならば一策を載じたいと思ふので

林總官「これは小官の義子胡提督「汝は一體何んだ」

大橋官「これは小官の義子朱女造

若鞭者が擅ま、に軍職に口を入れ 就で輕々しく認か養せないのに、 が「軽々しく認か養せないのに、 女給 入用山縣蓮三八番地新開 女給 信濃町ギンネコカフエー 電話七七六五番

カレンダー美人 瀬三五 電六六六三 大連案内社 新電 話さる月賦賣多數有り四

家政 解及附添結募集及派遭通 聖德家政結附添婚會電九七六六 聖德家政結附添婚會電九七六六 四五名至急入用檢遇了 高洲土木建築協會食堂 和日日 和明年齡廿五歲以上 若狹町四〇番地 濱 田

教授 在花茶調內弟子二二名集 住花茶調內弟子二二名集 全融 大口小口信用質、商人に 一九一仁芳酸行電話七六九一番 ・ 「若被哪麼に個用立五七番 ・ 「若被哪麼に個用立五七番 ・ 「若被哪麼に個用立五七番 一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番 「一九一仁芳酸行電話七六九一番

を開いたのである。

音野町電話四六二七年

電話と金融

店商屋見丸

京東 舗本能石ワツミ〇

電話三六六六番

製

書るので一部から期間

脚更の希望 野に行はれる武孝鴻問は農繁期に毎年十一月一日から一週間全國一

御內着帶式

滿洲の讀書週間

勅諭煥發四十周年記念と併せ

既に各地で開催さる

【東京特體一日經】総融氏が引率して増里に避配した遺産する方式を 人選はいづれ紫らの懸鑑な人々で 人選はいづれ紫らの懸鑑な人々で 大が鬼器のため懐緩される現版を それるが交々語る

會を職職し、安東は既に先月十二 発月末から本月上旬にかけて展覧

大連も一

に百九十六名總數の七割 を以て結局全回の死亡內 を以て結局全回の死亡內

合ひ敷合激じく戦

でさめられだして東方を贈って発って、 文義された織田巡査の妻女も同巡

そしてこの悲惨な人達は僧侶にな

夢中で浜一つ出なかつたのが能 夢平を見て俄に悲しくなつてき たのです

五日も早い

兇蕃襲撃の

電の総果を総合するに大きたの如 を は実明せざるも今日までの調 でには実明せざるも今日までの調 でには実明せざるも今日までの調 でには実明せざるも今日までの調 でには実際できる。

惨狀を語る人

夫は殺され漸く避難した

未亡人の涙の目撃談

第一番帰國係、此の點に就ては種生の風散あるも事實を探管する。本の風散あるも事實を探管する。本得で只霧社分室佐壕管部の妻は自狗番頭目の娘なるが自狗番

本べく努めて来た、しかるにわが 大大間 の際艦便乗、越 大大間 の際艦便乗、越

(東京一日發電通) 皇后陛下に 御日取仰出さる められた吟め満洲もこれに倣ふこれに倣ふこれに倣ふこれ

書熱を管際する非合せになってる 書館に何れら右記念事業を併せておれば、本年は恰ら就語煥發四十年

日から二日間 日布安東出記栃及び我社職告展出 日布安東出記栃及び我社職告展出 各地鉄図左の通りである 送陽。浮世繪及古本展覽會(十月三十日から二日間) 数山勅語及び明治大帝御事蹟に 関するもの(同上) 長春 明治時代に関するもの(同上)

無常歩兵第一職隊第九 =卅一日マヘボ附近の ・一時發午後一時十一分

發電通」臺灣軍司令部

『東京一日發電通』文部省 では標育運動會の外國に運 等であること、なり今回。東京 中月二日で入選一篇には 大一月二日で入選一篇には 大一月二日で入選一篇には が本年の研究は第10年より五日早から無温はまだ少し降ら見込だから無温はまだ少し降ら見込だから無温はまだ少し降ら見込だからました。

體育運動歌

文部省が募集

ŧ

公安隊が鮮人彈壓

州內小學兒童書畵展覽會

のあり、総報に拠した銀融器では「様であるが修改地のこことで除紙・生態して配底的環際を加へ機器」「除べられ支那鵬には不実際一味のに迷して配底的環際を加へ機器」「除べられ支那鵬には不実際一味のは難したこと

鐵嶺署から警官急行

滿日講堂でけふから 木財會洋畵展へじと宏道流挿花會

開く





朝氣漲る若き伯爵

墺國伯爵クーデンホーフ未亡人光子

四十年間の苦鬪物語

ッ子の血をうけ

來る始末、これを何

| 大学のでは多大なものであ 寒り戦後ヨーロッパの接繁は益々の成力は置える歐洲各國に後入しの成力は置える歐洲各國に後入し

手怪なるるるるで カーロッパ運動を起し、歐洲各國に 一般、企業のカルテル化、トラスト で、企業のカルテル化、トラスト の運動は英、佛、羅、外根を抱込み名譽會長 根果プリアン外根の

常祭品人

雅の影響では、 がであった光子未に人の血。 がであった光子未に人の血。 がの衆望を一身に背重っ のよいであって、なほ がの衆望を一身に背重っ のよいであって、なほ がの衆望を一身に背重っ の上であって、なほ

いから或は命まで脅かされた。 つないから或は命まで脅かされた。 のないから或は命まで脅かされた。 のないがあってが要素である。人口四千萬の強調である。 でもる、人口四千萬の強調であった。 でもる、人口四千萬の強調であった。 でもる、人口四千萬の強調であった。 でもる、人口四千萬の強調であった。 でもる、人口四千萬の強調であった。 でもる、人口四千萬の強調である。 でもる。 でもな。 でもる。 でもな。 でもな

帝國艦隊の精鋭

大石橋(同占)大石橋(同占) からは綴じめ 大連 支那地圖展覧會(十月三 線さして巡回するもの(二、三兩日) 四に本年から、 あもの(二、三兩日) 四に本年から、 あもの(二、三兩日) 四に本年から、 あもの(二、三兩日)

派大訪問中止か

海軍省豫算の大削減免かれず

開原。浮世繪及び美術に関する・完全に同上)

復州鑛籃球軍

旅順から來航を切望

本一、齋藤寺文郎三氏が近く幹事

男のおうのの

ランテンはリス光を 田和五年八月花也 変を背負って安全地帯にの番人は他く接腕意なくの番人は他く接腕意なく (日本亡人さその筆歌)

頭目の野望と 蕃女關係か

叛亂の原因 なるマヘボ、ボアルン、一回騒慢の首談者について 一回晒慢の首談者について

中車舞臺で卒倒

電車二十分粉類伎座で上戦中の優 名手本忠臣蔵四殴目短官腹膊の場 名手本忠臣蔵四殴目短官腹膊の場 がある。

一次 でなって人を繋がせた四人の質量 でなって人を繋がせた四人の質量 天主公教會バザー 日曜の催物

愈々

シーズンとなりました!!!

防寒の御用意に本年も一層の御引立を!!!

事會後午後四時維持委員會を開く しさの期限を附し午前十一時學生

學校監局・解決に非常な苦心を撮が學生腑の態度極めて強硬のため

ふの満日講堂

回答するで

東京一日發電通』早大常局は一 京鐵軍 ラガ 今明日のラグビー戦 0) 一の血躍る 來征に

第一部の限ラグセー戦(100ペニ三麻日部の限ラグセー戦(100ペニ三麻日部の限ラグセー戦(100ペニ三麻日を観光が大撃できれるが、野戦の妃く京本でも140ペニニ麻日の大変を受けるなど、100ペニニ麻田の大変を受けるなど、100ペニニ麻田の大変を受けるなど、100ペニニ麻田の大変を受けるなど、100ペニニ麻田の大変に対している。100ペニーには、100ペニーには 借三七六六話電

宏道流揮 大日本群芳會大連 大日本群芳會大連 大日本群芳會大連 大日本群芳會大連 大日本群芳會大連

東京一日發電通』去十月十七日 慰問狀を發送

尉遺族に

(A) 人 古開 治彦 (村部) 七 (大部) 日本 (大和) 日本 (大

ては同氏の遺跡に黙し幣原外様序界の意向を確めたるにアメリカ艦

なので他に遊覧のが出を探るべくであったが厥國の忠律上手綱団座

日場時所

山 根 桂芳日 午前九時より

戀の蕃婦 山林中で縊死

手

卸現

賣金

山地

転行

ては同氏の遺族に對し幣原外相序を設定する事となったので外根は記く序書の動能版を数とうる、事を得れたので外根は記く序書の動能版を 江連力一

來る三日出

死亡內地

實に百九十六人

在住者の七割三分强 盟休解決協議 早大理事會で

御婚禮用御履物は多 浪 速 HJ. Ξ 電話五七一七

狐、ショール、獺毛皮裏、アストラカン帽子、外套類 大山通 流行と實用の粹を聚め新入荷

0 例年の通り多數七皮看荷致しました 即仕度は即充分ですか? ズ 電段はかつてない破格の大廉價 を調へて下さい。) ノに入りました モ皮ショール モ皮ショール 套 金四十團より にて冬の仕度

大連支部創立

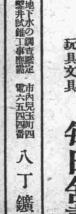
御共鳴下さいまして一層の御引立を御願申して新しい品 安い品 と復興の意氣にした事を御詫致します。今回漸く修築を了した事を御詫致します。今回漸く修築を了た解出火以來皆樣に御迷惑をかけま 上ます して新しい日

玩書籍 **文**其 **注** 常盤橋電車停留所前 電話八八三八番 毎日含書店

業

本ロッ 部一之品仕奉 香德林 10五 茶碗蒸 - X





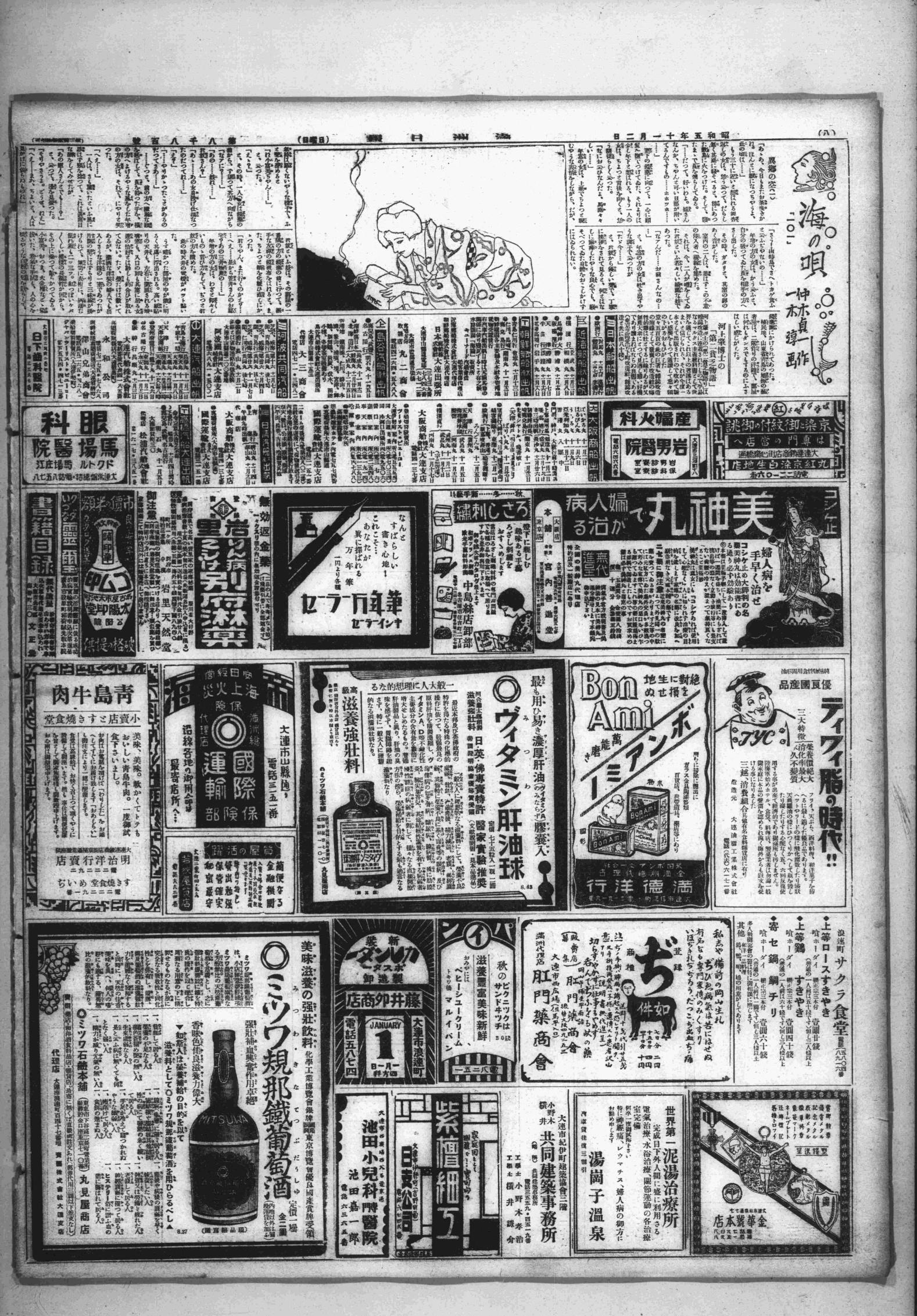
界各國酒類 東京風菓子謹製 **松麵**點|| 壹箱 三十五 賣 食料品 出 9 E

8 一、二日の二日間

本各地名

公

告



います。 「東京一日读電道」三十一日の閣 「東京一日读電道」三十一日の閣 外交官異動發表

財政難切拔

軍費大削減論擡頭

部に資像したる以外に他には資際者を出るす原座下には御機搬職し

マドリッドへ向はせらるゝはずアンに赴き南歐洲で有名な同地アンに赴き南歐洲で有名な同地

對露通商條約に

支那は氣乘り薄

有力貿易機關無き爲

井上殿相調査を命ず 日間を以て単顎の握く一日の管職 列車に發砲別

ルガリア國王ポリス院下述に新好 に達もた報道によれば三十一日プ (2) 儀仗兵一名負傷

製工を 御受遊ばされた 特別宮廷州車でアルガリアの首府日熟線に臨む憲法ボールガスより 呼はせられたが、三十一

年限延長により

難局打開か

安保海相の交渉方針

|| 型間の貨物

超スピード輸送

明春迄に規定を完成

に輸入圏さなりソウエー に輸入圏さなりソウエートは一切の 品を輸入せず自給自足す を確立も、反製に過剰要 が市場によりる結果、支 外市場によりる結果、支

カの進出は自然の

東に吹響

補習學校と青訓 合併の

全國聯合大會に提議

本り佐信二名財富五名を派遣する より佐信二名財富五名を派遣する により該分校教育さして東市際軍 により該分校教育さして東市際軍 により該分校教育さして東市際軍 で職務會を聞いた 出發赴渡した(奉 東京一日委覧道』常車では神光 原東京一日委覧道』常車では神光 単二大家を現て蔵様さ交響することにあるが安 地でである。 東京一日委覧道を加える時は、 「中に海軍者部の大変 を選択を加える時は、 では一次である。 では一次である。 では一次である。 では一次である。 であるが、 では一次である。 であるが、 では一次である。 である。 であるが、 であるが、 である。 である。 であるが、 である。 である。 であるが、 である。 である。 であるが、 であるが、 である。 であるが、 である。 であるが、 である。 であるが、 である。 でっ。 である。 である。 である。 である。 でっな。 である。 でっな。 でっな。

概して公平 沈滯した空氣を一新し

與黨幹部から

新進人物を拔擢

て非総攻撃の血気りにあげられた 米、條約励局長が常に横府におい ★ 性能したのは不職権約以来職員に終點公使を職業局長に、それ

昭和五年十月二十七日

新職祭を見るに総田大使を修納局

機械の販路を

四ケ月ばかりのドイツ旅行で配の大き後工場の影響などで、機能なる工場の影響などであることは関へばれまりのとなって、

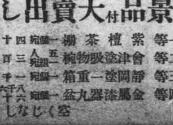
藤田勝氏の話

一一一一一一一一日 一日 一十一銭中一月一日より従來の購讀料を金拾銭値下げ

購讀料值下社告















歡迎會不然質の兩次官

多獅島築港計畫案

本月上旬中に全部

京前に拠出の運びさな 委員一致せる基 委員一致せる基 より服飾技術解問

高しい。 あもこの意見一致になら根盤を を微能五千四百萬園に黙し二千萬 を微能五千四百萬園に黙し二千萬 を放能五千四百萬園に黙し二千萬

明年は六百餘車 鋼鐵貨車に改造

追て三千餘輛に擴張

大部分さ六年度分二百車へ従って六年度は五年度 では臓器事業さして存 しなった場合はその都を臓器車になった場合はその都を臓器で、では臓師を部を臓器質 で破損した場合或は使用にたえないとは臓器事業さして存 しなった場合或は使用にたえない。 の鎌窓であったが観

職によって決議を得た機、な見るもの、如くである 数百七十萬間を計上過機、、なるが昭和十二年度には一陵落 では、なるが昭和十二年度には一陵落 要すべき貨車は三平七百輛線を有 要すべき貨車は三平七百輛線を有 車輌 を殴いても闘歌遊を 綠化計畫

支那當局計

東北突通委員會は東北の各螺道沿域の緑化に力を注ぎつゝあるが最高、吉弘、吉弘、吉弘、吉弘、吉弘、吉弘、吉弘、吉弘、曹、西、 東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北京 東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北京 東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北京 東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北京 東北突通委員會は東北の各螺道沿地東北京

露產業改革

さはもい輸送が扱が決議を ソウエート 線道を網

狀況調查

内蒙の総空路開港を進めつきある に 東古及び西顧の逸鏡交通機関さ して航空路の開液な計畫し東北政 して航空路の開液な計畫し東北政 なし、ただ学なつしべきのみ。 野社の難様、依然さして影響、 研覧は州界、 東原底に越る。 変がほり、日曜に大いで明治部 林林 100

入港天潮丸にて天津より來連 11日(北西の風) 鳴一時無 各地温度 各地温度 を下 等下二・八 同 10・八 なり支那なりが、女化館に網灣館金は何處から來てもよし、滿蒙 毎月一回一日發行





東北交通委員會は吉林、北平間直 あり、パリーにある融工委員會を 東北交通委員會は吉林、北平間直 あり、パリーにある政工委員會を 要時間四十一時間の豫定ださ(奉 等決院に歌連撃埋することに硬付 要 要時間四十一時間の豫定ださ(奉 等決院に歌連撃埋することに硬付 要 要時間四十一時間の豫定ださ(奉 等決院に歌連撃埋することに硬付 ア電話) 東北交通委員會準備

東北各鐵道の

航空 大觀小觀

が解ける。根手はドイフ。 が解ける。根手はドイフ。

なく、米園の別押しさもいふ? なく、米園の別押しさもいふ?



世界の野歌歌歌と歌歌と歌歌と歌歌を 一成く朝天に「慶歌歌に離ったの世界 一成く朝天に「慶歌歌に離っるべく が外資の郷歌・藤歌歌に備へるべく で見下師立歌・御田と歌歌及 一成と朝天に「慶歌歌で加ら歌歌を かいまな音をしている。 一方が、一方では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句では、一句では、一句である。 一句である。 一句でな。 一句で。 一句で 『ハルビン特電 - 日経』 東魏記事 會にては稽核副尉長のカルボフエス を東磯商業部の撃天、大連の歌称 が東磯商業部の撃天、大連の歌称 東鐵商業部監督

さができるものだ「ハルピン特

文は常社代表 電話三一五一个作業係で御行を 作業係直通 電話スセ大一・五丸九九 作業係直通 電話スセ大一・五丸九九 作業係 直通 電話スセ大一・五丸九九

設立計畫 銀行

電品で加川で番

露諸懸案

と對する

を受け、一生の修楽時期を標恰麼購征伐のために、退校戯

達がある。しかし程は

の時像に、破時代の影響や、形ちもい戦略が開拓されればならい、戦略が開拓されればなら、新新りもい社會現象が發生し、新

生

の不祥事で、心ある者は にひ、或者は都統教育に にひ、或者は都統教育に の表謝ださいふ、飛

低保等込養者に、世界を通じて に誘致し得る交敷が實施されれ ばならな、総るに大部分が開選 ばならな、総るに大部分が開選

それが即即々々しい。

し、 熟研館に相野ふてゐるが、

っ考へても、得る所は幾ん

が、 頭に必然では、 一大学では、 一個の秩序で和を機能するやうな學校行政の矛盾は能にある、 一個は配識思想問題の政治が、 更に必然では、 世界職事後急がそれで、 この大学には、 世界職事を機能するやうなを験が、 更に必然では、 世界職事後急が、 や

カ時機に、薬時代の電流で、 成で、風紫のみが騰はれた人々 式で、風紫のみが騰はれた人々 が、それか指導し怨嘘しやうさ する、其綿製知らず識らず、際 年の似面目な研究心を、指束膀 が、それか指導し怨嘘しやうさ が、それか指導し怨嘘しやうさ

ない、一事は萬事だ、きうしたない、一事は萬事だ、きうしたない。一事は萬事だ、きうしたない。

学出は能く焼へてゐる答

ついても、だめて理解ある自然での進野の開脈、縦繋の場正にその進野の開脈、縦繋の場正に

政警局者の智鑑すべき問題であ

放逐期たる青年の向上心を精色傾向をその態に、墨樂上にも報

日一月

病 木 跨 人行發 二 製 口 山 人 付 额。 "据 <u>太 庄 下 山 人 </u> 献 母 , 做 贵 — 荆 坷 陨 仝 所 广 强 数 银 日 树 蓊 粒 食 式 琼 — 所 厅 强

走

が根本方針決定す

週商、思想問題解決機運心促進

各省首腦協議の結果

者を出さずに置かない。そ

の相違がある、何れにしてよが、その運動の現はれには悲

その取扱ひ一王陸下御路の特別発車がポー

流じたが幸いにして徹安兵一名起 て愛破したる不敬減あり大騒ぎなて愛破したる不敬減あり大騒ぎな

できこさな希望する、鮮銀問題 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さす且僧區料して、 大なる變更を來さず且僧區料して、 大なる變更を來さず且僧區料して、 大なる變更を來さず且僧區料して、 大なる。 一九三〇年以上に做路のせざる。 一九三〇年以上に做路のせざる。 一九三〇年以上に做路のせざる。

に阻害しつい

佛西國境御通過

Pitt

地を観察するさ、関係上部の検査 等で満洲と機能の観査を開始すれ 等で満洲と機能の観査を開始すれ 等で満洲と機能の観査を開始すれ が認識及整日から八百車以上の輸 強補血

の天嶮で

蕃最後の

敵前に於る架橋の竣工をまつて

三時代蘇戦軍司令部着報によ

一次攻撃決行か

生家知事昼從の下に便 時三十分宮城御出門、 岡権宮司の御先導にて本殿に御数 歴御出門、安達内根、

野 工殿下を掘り溜り御帳式廠響にて九 れた、総のて真族殿下、紫砂龍賞に位素花瓢・一大雪は、倉蓋艦・村田 工殿下を掘り御帳用の御纜爽に させ給ひ、御離父母陛下の御鑒に させ給ひ、御離父母陛下の御鑒に させ給ひ、御離父母陛下の御鑒に させ給ひ、御離父母陛下の御鑒に たい ない 御離父母陛下の御鑒に たい ない の は しょう しょう しょう しょう しょう は しょう な抵抗を据し露社を出頭し家屋をな抵抗を据しいのでは、三十一日午前八時第一線は京畿の頭弧

は今朝九時二十分我軍の占領に際 兩域も

各蕃社から

討伐除出動

師に獣し他の歌社には却て憤慨し

大地隙へ 敵蕃退却 ゴー社は午前九時四十分

牧野內府に

給千八朝

て燃料見込納百八十戸である
て燃料見込納百八十戸である
で機料の大概は年前五時戦火
の大機は一十八十月である
で、推内の大機は平成上時、町
で、推内の大機は平成上時、町

解職を勸告

高田總長ご間違へ

事件公判延期 ベンゾイリン

非高田派の早大生東京驛で

脳附けた日地谷署の警官に守られ

百八十戸燒失

無いる。 「無いのでは、これでは、 をいっている。 といっている。 といる。 とい

多分明年一月廿日軍隊延の豫定で た太田黒英記氏より公判延期の 电 た太田黒英記氏より公判延期の 电 た太田黒英記氏より公判延期の 电

離職動告の直接突渉かなし騒ぎ立 田橋長さ合脈し直にわつさ取巻き

海道稚内の

ある噂あり、現地に精通せる人の兵器電源、概食その他を繁積して 察中、同所に黴水突上端の膨脹地にて緊東地行脈の陸軍機は極力低 酸はマヘポ社東南方面の窓谷を能 開岸は千仭の絶壁で潜人ならで

ゴー、ボアルン、ロードフ等の製品院落、別都は唯一の愛された『舞社一日養電通》三十一日の日光前の暖間により反抗器中ホー

機を破職し天職を神して我家職の正職を支へ間後より死話しこれを中心にハガ山家の窓谷のマヘポに通する

しかして永野小阪がマへがの西一

五町の地點の山を扼してその進

松井大学に平して三十一日午後三時県都で遺遇する高地にて三十一日午後三時県都で遺遇する高地にて三十一日午後三時県都で遺遇する

兇蕃に與す

3?

奇怪な

總攻撃で

の襲あるが、これは整中機察官のの襲あるが、これは整中機察官の 風説に過ぎぬ

往左往したが、既に時遇く當の高 血暖になつてブラットホームを右

田總長はこの 騒ぎを

他處にそつき数

老紳士、そてつきり高一位、富貴は人達ひされた敬野伸順

取締規則出

車量貨物運搬

の荷物に不能のかどがあり司法係のの荷物に不能のかどがあり司法係 監筋中、大連行警院標さ価様のつないから支配をの上陸に際も當地ばいかる支配をの上陸に際も當地 來たので同人等立會のものに聞い
技が同日午前十一時ごろ受取りに る、四十歳前後の日本人男 引いて待つてる 知り合いの澤村の手でトッか十級の場合のの澤村の手でトッか十級 経貨二百九十四、トミも永年貯め

小兒科 森醫 以上大學 人工太陽燈設置

忠靈塔明治節祭

青年訓練在等は勿論、一般の30年 前十時より修養関忠護塔分園の主 前十時より修養関忠護塔分園の主

中人組製一中人組製二中

百餘名 相當の被害

霧社占領

戦死の兇蕃

頑强な抵抗を

休戦狀態に陷る 一日午後五時現在におい

岬鰋に聖上御拜

けふ森嚴に執り行はせられた

【靈北三十一日發電通】三十一日

明治神宮鎭座土

彈藥爆發

も見込みなるも老人、婦女子及び中にして緊緊征後の目峰を達し得 電響北田一日養電通 今朝十一時 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に騰酸して置いた。 変の一部な同所に、 変の一部なので、 変の一部な同所に、 変の一部なので、 変の一部なので、 変の一部なので、 変の一部なので、 変の一部な同所に、 変の一部なので、 変の一部な同所に、 変の一部なので、 変の一ので、 変の一ので、 変ので、 を

徹底的鎮壓作戰

兇蕃散逸の

中分を大隊の一

長養統務省養電、目下總攻擊進行

がくては今後根密野職塾覧 、かくては今後根密野職塾覧 底筋に鏡壁する機作戦中な 奪隠匿の

・ 「東京一日要電池」整概線を研究を ・ 一般者遺紋はよび死骸軟容様況左の ・ 一般を ・ 一を ・ 一を

者三家族五名

台同葬儀 死髀收容狀況

遭難者は

| 「編里世一日景電池 | 帰里を養し 友一は右腕部に統領を受けた に籐射撃速したが、第二分隊山下

世栗太郎

を断くので處置を急いである を断くので處置を急いである 《埔里三十一日簽電通》高井部隊 犠牲者荼毘に附す

謝近火御見舞

湖近火御見舞

樂器

中町の朝火事 1年前 要火し黒電線々さかちのぼってる を大し黒電線々さかちのぼってる を大し黒電線々さかちのぼってる を大し黒電線々さかちのぼってる を大きに乗車であったがしまり ででは目下沙河口繋にて「大事さけ加 が関告さも二萬國にて「成」の では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では目下沙河口繋にて「大事さけ加 では日下沙河口繋にて「大事さけ加 ではりまする。 謝近火御見舞馬田洋服店 謝近火御見舞 松浦堂時計店

節へ手配連頻者の捜査中

謝近火御見舞

御願ひ致し舛日々の相場を御知らせ致し舛白米御買入れの節は先づ大島屋へ御尋ねを

白米問屋大 電話 二二一〇〇番

性病 教育法長

賣量しデは大投賣お早い勝

十月卅一日より

半額以下大賣出 **E** 浪速町四丁目へ磐城町突番りン

(珊瑚)

大特價提供 即賣

東百貨 粧品 · 身店

婚禮 披露 F 御菓

らし御満足を願つて居ります。 みやびやかなる意匠銘菓はどちら様にもすば

午前八時四十分豁社總攻職に震り

八嚴窟に立籠る

時難既に関する軍隊眺の戦一中の緊張は附近の大觀部内に逃げ三二十一日登電通』三十一日一皆によれば、マヘ米社に即け済走

れた檜造りの警察分署

風光明媚をもつて間ゆる霧趾近郊の「人止め霧趾居住の女響」

來る十五日から實施

一一年前 から無苦して悪

中國地圖展日延べ

脚車等が千瓩以上の貨物養送に迷れの解認に鑑み今後自鹹車、衛車をが千瓩以上の貨物養送に迷れる。 しては左の如き嫌定を設け一日職では極い しては左の如き嫌定を設け一日職では極い には左の如き嫌定を設け一日職では極い には左の如きかでは極い。

は共謀して本年五川神戸市西離県 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名 大郎、安武哲郎、橋口金蔵の七名

全滿中等學校

蹴球戰組合せ

◇参加チ

ームは五組

ているるが、常智観さにらみ各が、ないなくやつたさ減ながらに軸立っ 分撒して同定脚艦で来速したものカヨが五概、澤村が三振それんと

男、生田義信、林田正明 水、吉村有二、廣瀬雅一 水、吉村有二、廣瀬雅一、 水、吉村有二、廣瀬雅一、 東瀬雅一、 東瀬雅一、

最初の戦みさして非常なる躰俗な 抽気の 結果 左の短式戦感激乳酸大會は満洲戦球界の 間五チームの髪加を得一日正午 合せ決定、なほ二三兩日大連 用の關係上左記の如

練習生除員

際の茶席三喜庵の茶席開きを致し

有談のな人、表人のな人皆縁何卒 何遠はなく薄茶一服召上り下さい が総無料で御座のます。 大連市大山道 速東ホテル四階

東京式

相対の方に御魔に致しまずこう以上がいた同年の限りを記しての以上

万 種:金五十円:五円掛十回 1 種:金七十円:七円掛十回

電話六八一九番

出火御見舞御神屋

本島人の煽動 捕縛監禁す ったので、學生等はぶつ ての重圏の中から脱したさ見れば

四、東京一日教電通》北海道長崎教 本日午前零時三十分内務省養電 本日午前零時三十分内務省養電 は、なほ延燃中、墨校、響察、支 し、なほ延燃中、墨校、響察、支 し、なほ延燃中、墨校、響察、支

臍くりを出して 水上署員に嗅ぎ出された 男女三人組擧げらる ある 馬を殿った 沙河口製造内 と頭を割る 西山倉香爐礁 を車家屯二九衛島車夫職第二四 で野上に離れたのを通り合はせた市内的震山島者城市、突然殿が繋げて路上に離れたのを通り合はせた市内的震山島者教容所の張孝全二十の時間山島者教容所の張孝全二十の時間は一個人の殿を勝手に際がした。 たので直に沙河口器へ線密搬人されたので直に沙河口器へ線密搬を強はした線三週間を繋する摔窩を強けしる。

昭和五年十一月一日

社ごは何等關係無之右爲念廣告候也

來る二日、三日天滿屋にて開催の「奉天滿豪の出張大廉賣會」は當

意

滿蒙毛織株式會

おおいたが、なほ他方廊に おおいませる〇〇の一派さ合せ でたが寄せる〇〇の一派さ合せ の表際に既も内地人の途

埔里出張から生れた風歌であるの鳴あるが、これは鑿中檢察官

暴動を起した霧社

田中一味に 小拳銃密輸事件

お早いがお徳 三十日より

話以表立是白凡香

こと透路つてから、ぐつさ次

「ガー質どのさやらい

7に口も神けずに戦えてゐる附りのし、お難は惟れ欲つて、深ろしのと、対難は惟れ欲つて、深ろしのと、 一声は難しい怒り で真似をなさいましたな」 ではい、軽し蹴ごさいませね」 情え入る網い整で、健際に一層。 る壁さ、主人の左近さな突ると、お歌のお干賞の情然で測含んでる

「へーい!暴れ返りましたな」 用人左内は今更汚嫉を見るやう なをお変って

ものさ、不能に存じてゐたが、ではお前は就い時から腹小便。 あのが、いる人の順や加持脈聯、おの、別ひの甲斐もなく、簡ないここで、こざいます」

できっか?それにしても怪しから できかりそれにしても怪しから

○六一ルの十七 ●六二カの 六 ○六三レの 三 ●六四レの 四 ○六五ョの 二 ●六スタの 二 ○六七タの 三 ●六八レの 二 ○七七ソの 八 ●七八ルの 四 ○七九ヲの 九 ●七八レの 七 ○七七ソの 八 ●七八ルの 四 ○七九ヲの 五 ●八〇ルの 田 ○七七ソの 八 ●七八ルの 四 ○七九ヲの 五 ●八〇ルの 田 ○七七ソの 八 ●七三は先着なら入上邊へいつ方面に関ふ所ですら日よい所です、白七三は先着なら入上邊へいつ方面に関ふ所ですら日まい所です。白七三は失着なら入上邊へいつ方面に関ふ所ですら日まいがある後へいの邊に打す入意思なりしなら入と思も亦然る者直に七 り然る後へいの邊に打す入意思なりしなら入と思も亦然る者直に七 り然る後へいの邊に打す入意思なりしなら人と思も亦然る者直に七 八に打込みたるは流石々々

がか 狸か子四

悪い」 この通り、拙者の観衣の裾までぐ つしよりご濡れくたれて、 無常が のしよりご濡れくたれて、 無常が

られて、その京風な観影へ一歩ざりまするか?」

見る器量で、 端にも行かずに居た ものき、不能に残じてゐたが、で ものき、不能に残じてゐたが、で

事を紹めて小さくなる贈りである。 事を認めて小さくなる贈りである。 できまに黙して、武語に軽した無敵 をきまに黙して、武語に軽した無敵 をなさるお考べちや?」

立ち見り

て戻ったり慣い好めつ、

せの小さい時から駆い騒に、この

なったっ

色でと演藝 都山流尺八

都山流大連一心會にては十一月三 日午後五時代から 敷鳥町キリスト 教育年會順にて都山流尺八演奏會 を催すが今回は番外出識さして北 村際の郵效連中の長眼合奏がある

の太陽職業篇

日演奏曲目

が はっては 青い平いここであった。 で 単一 けんに かって、 日を 神いた人 で かんしては、 迷惑子真な しては、 はなったのに、 となったのに、 年まであちこちから降るやうな嫁 なんだが、此度さ云ふ此度は、小な 類な対じのおまを頂いて、腹入りなせ 類のかが手酸の、上つたのでございま しても、質に勧められた馴れわお しても、質に勧められた馴れわお しても、質に勧められた馴れわお しても、質に勧められた馴れわお に、酸さました。今きなつて はこのお際ひが手酸ひ、ついかうもた はこのお際に、、酸さまのお手に際。

(日曜日)

いては言ひ辛いこきであった。

日本コロムビア大連支店にては二十一組でが断目は左の如くである コード演奏會

て、指示す変具の上へ影響を移して、指示す変具の上へ影響を移してを脱の学をぐつしよりを置らしてある形れの謎。

叩きつける音楽が慎敬の飛袜さ

其他販賣店は五

沙河口大正通

睦濱山山大

商商泉店會堂店

田田

會店會堂

山富淺花 士岡田

號店店會

田屋

名な

樂品店、

(=)

こうやこうの

ルトが主演し相手女

空 0

王者

した眼を聞ってい

コロムビアレ 長唄番外出

證

し用使し對に者能中のネヒルモ・片向を之は落脈利威 す更證に対に対けな対する額にるた 日三十二月八年五和昭 院末陽附堂等清次海大 印 草 佩 王 長院

大連市常盤町二番地 松 査 成 績書

衛生研究所印架報道株式會社

價 定

威利康茲特約南滿總

分銷處 奉天

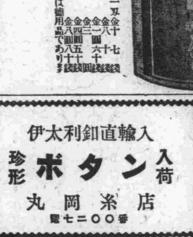
秦記洋行

關東州總

後六時から遊樂館で秋季第前監督 筑前琵琶演奏會

丸金號威 大連連鎖商店(電園前) 振替大連二一二番





高くべき 進步せる 遠距離 ラヂオ着荷 ▲セットは瀟洒な家庭向備品▲高級品を廉價で提供出來る ▲大連放送局六町内で完全に内地分離聴取出來る ■調節簡易能率百パーセント (各材料店に有り) 交流ラデオシャープダイン五球式

蓄音器擴大裝置

大連市常盤橋筋西通角 舍 三三 六 四



共 七 大 秋元豐二郎氏 健康增進 頭腦明晰 ! 若返りの福音!! 旺 盛!!

画

緳

内

一日限り

世八日 選に対切

大帝キネ本年度変快巨編 第一、二報

本人間人

二三四五六七八九十二三三二 滿日勝繼基戰三四子四



兵作罪ケ日

右き血に燃ゆるもの

-[4]-

滋養强 威乳剂 品 0

門專

國力

ッ各等二十銭引にて御優特不週教行の優待券倒持るの方に限特別出演、徳川良子、杉紅兒

RR

凡を強測れる元氣で活動せんとする人は須らく身體の新陳代謝 と盛にし諸機能の完全なる働きをなさしめ以て肚健なる肉體を にでウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なか、それは消 ウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なか、それは消 ウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なか、それは消 ウヰリアム、キヤンデーは何故に滋養强壯品なか、それは消 では別を盛にし解毒作用を誓むを以て阿片、モルヒネ、へロイン等の中毒者にして之を飲用するときは能く注射の回數を減じ を選に恐るべき中毒の害より発がれて本然の健康を保持することが出來ます。 ウヰリアム、キヤンデーは没養强壯の大關にして且つ體内の新 は浸性の消化機能を旺盛ならしむるがためであります。特に胃 は浸性の消化機能を旺盛ならしむるがためであります。特に胃 は浸性の消化機能を旺盛ならしむるがためであります。特に胃 は浸性の消化機能を旺盛ならしむるがにめであります。特に胃 は浸性の消化機能を旺盛ならしむるがに必要成分は糖分とエー をといるを嘆賞せられて居ります。 でカウェリアム、キャンデーは滋養强壮の大關にして且つ體内の新 はでいるのであります。現にキャンデーを使用して其効果の は変に恐るべき中毒の害より発がれて本然の健康を保持することが出來ます。 ウヰリアム、キャンデーは滋養强壮食品として以上各種効果の ウヰリアム、キャンデーは滋養强壮食品として以上各種効果の はまたります。

たる試験成績書を左に飲料さして有害物なきる)各位の賞讃の聲では、 キャンデーは 正に掲載することに致します なきことを立證するため最近大連代理店 際であります本品が此の如く有効である 際であります本品が此の如く有効である の驚異的効果ありとはキャンデーを愛用

カナリヤ殺人事件カナリアム・ボウエル主演が代特作・千惠蔵映画では、外僧出現でいる。多美技の後に頭かな千惠蔵の胸のすく傑作調かな千惠蔵の胸のすく傑作響が多美技の後。

D

出

(従來の難點の

特約店

電話九四五〇番 店

約店 大連市聖德街一、

特價二十七圓五十錢

特價十八圓五十錢

盤 下さい日本 座

カラカ エー 400香

常

腦

夜 六時中

常盤座恒例明二日(日曜日)は

洋 四 五

電話八五七五台 令大 製和大 小紙の 間間 行通 紙種屋

ハンスト

此の機を逸せず今すぐ 洋室用 (價十四國五十錢 (個二十國五十錢 算す 現金を加 は運費及

媛房界の大改革 御要求に添ふ事に致しました の優性をはらって

改名記 念

各紙

自柳新 然霞古武

世話人

池藤加高

田田藤

堂堂齋平

書畫展觀正 場 大連商工會議所樓上 日 十一月三日兩日至 觀正札即賣會 (古新書書約二百餘點) 會席 使 勉强 T

東景百パーセントほていの勉強振り 唯下の唯歌で御書食 五十銭 御會 外上期節物、一品料理いる 外上期節物、一品料理いる

5

本の する十月中の海運市辺は左の畑くする十月中の海運市辺は左の畑くする十月中の海運市辺は左の畑くする十月中の海運市辺は左の畑くが一般の電池を見出してある 新好様の電池を見出してある

(DU)

沈淪の海運界

發行高減少

の如しく単位相)トリスを記せば左の如しく単位相)

平のの名が

米價安のため

鮮銀券の

~好轉す

新穀出廻りを眺め

先月の末ごろから

(単位側) (単位側) (単位側) (単位側) (単位側) (単位側) (一、七〇一 八、二七四 三、五七七 四、〇二一 三、七九四 一四、一七二 三、六三四 一〇、一五八 三、〇九九 一六、〇三〇 一九、九七九、六〇、九三七

紐育諸株式慘落

並二年間の 最底値

電域の成績あるのみで不選律に では、三島のなが四、五 然って整頭し尖景ながら先続歌歌記十志さなり豆粕、豆油の引合又化し十一月十八志、十二月、一月

整理投物殺到し

小要輸出吸管につきឈ認を重れた 大質素が感をしてより一氏外五名 大質素が感をしたより一氏外五名 大質素が感をしたより一氏外五名 大質素が変にて本理器 は三十一日ご素供楽部にて本理器 加奈陀實業團 製粉業者と懇談

十月三十日現在上部級塊線在衛高 は左の妲くである 一〇一、五八三千兩 一四一、一五〇千那 一四二、六三〇千那 一四二、六三〇千那 一四二、六三〇千那 一四二、六三〇千那 一二三五、二九〇千兩 二三五、二九〇千兩 二三五、二九〇千兩 二三五、二九〇千兩 二三五、二九〇千兩 前年同期 一七、五〇〇千兩 七、一七二本

と飼料の給源

二月

上海銀塊在高

一日正午より丸ゼル内會社に放て 世東京特電一日襲 無腕院販賣會 無腕院販賣會

撫炭販賣會社

配當二分派

日本の教授を表示を見出してある ・ ののでは、 一般では、 一般で

大型権は論綴の体験では、この内で調査される。 を主て、特別は論綴の体験を出するさい、三遺版 からの内で調査される。 がたに佐つて大型権に施って動きが、 があって動るが、これた。 を大型に機関するさ二百五十萬石されて自己にも一日二十一般のおめらうさなるが、これた。 を大型に機関するさ二百五十萬石されて自己によるが、大型権としてはそんなものでせる。 を大型に機関するさ二百五十萬石されて自己によるが、大型権としてはそんなものでせる。 を大型に機関するさ二百五十萬石されて自己によるが、大型権としてはそんなものでせる。 を大型に機関するさ二百五十萬石されて自己によるが、大型権としては一日二十一般のなのは小野、玉蜀栗或は其他のが配いてやるとにしても一日一回のホンの少さい。 を立ふのは小野、玉蜀栗或は其他自己である。即ち三十五分によっなが、これた。 では、全世のであるが、これた。 を立るからいます。それで内地生のである。即ち三十五分によっなが、これた。 では、全世のであります。それで内地生のである。即ち三十五分によった。 では、全世のであります。それで内地生のである。即ち三十五分によった。 では、全世のである。即ち三十五分によった。 では、これた。 でも、これた。 では、これた。 では、これた。 では、これた。 でも、これた。 では、これた。 でも、これた。 では、これた。 では、これた。 でも、これた。 では、これた。 農學博士 岩 住 良 治

三三、八四四七三三七三三七三三七四四七三三 二六〇四六八六五九七八八六六八一二六六七三七八一一八三六九五四五六六五三七二四〇 九四七三六四五八一一九七一五三四〇四二八四六四五二六五七四七七五四四五五〇三五三四九一四九〇七二二二八三九

大に融記騰貿易の取場がは一萬九 大百三十七個にして月別に示せば たの如しく単位側)

·正 式

村料 温々に 全朝の海外科型されて保合 全朝の海外科型されて保合 全朝の海外科型されて保合 大洋は百個三十二分の一窓)細管三十五個八分の 大洋は百個三十五後、旧本以は一十六分の一窓) 大洋は百個三十五後、一十六分の一窓 大洋は百個三十五後、海郷は六十九州八分の五さ(同事) 大洋は百個三十五後、海郷は六十十一開九〇 大洋は百個三十五後、海郷は六十十一開九〇 大洋は百四十十五後、海郷は六十十一開九〇 大洋は百四十十五後、海郷は六十十一開九〇 大洋は百四十十五十十六分の一窓)来支は三十九郎 全は五百八十五両さ寄り八十六届 全は五百八十五両さ寄り八十六届 をは五百八十五両さ寄り八十六届 をは五百八十五両さ寄り八十六届 をは五百八十五両さ寄り八十六届 本立止め常市の銀質は强保合を呈

来高定期三十枚現物三百八 本高定期三十枚現物三十錢高新東三十錢高新東三十錢高新東三十錢高新東三十錢高 東のみ三千錢高新東三十錢高 東のみ三千錢高新東三十錢高 大新三十錢高。と答ったが 大新三十錢高。 大新三十錢高。 大新三十錢高。 大新三十錢高。 大新三十錢高。 大新三十錢高。 大都三十錢高。 大都三十錢。

然期損失金 二、六三五、四八 前期機轄金 九一九、七五 差 引 一、七一五、七三 着 最 分

0

◇… 常尾東掖線 が乗動れそうな か手動れそうな

◆定期前場○單位錢) 場付高値安値大司 期近 美金 老豆 美金 美金 野 正 美金 美金

新銘

來高

物公部)物公部)

大連窯藥決算

0

際かの氏

大連無業の計は十月三十日定時休 元萬四千三百一個四十八級であったが損失金さとて三十五点一千九 百四十二萬七十钱を計上した。 領期利益金 二四、三〇一四八 管期利益金 二四、三〇一四八 一五五一、九四六、七二 登引損金 三五一、九四六、七二 を被別様数損金

日 世界的不況のの深いを変融し得るものさ起張すから、通貨の関係が強つて居る。
日本現代の不況に関し、金解薬、物に影後に、最も紡織せる論題なる。
日本現代の不況に関し、金解薬、物に努力して居る部によって統領を独立された。関を始めさものが上れて、通貨の関係を独立された関し、金解薬、物に努力して居る部となって金の関係をおいて居るによって統領領を独立された関も、一般の一般の一般が表現し、金に繋げるが、関係を新年におけるが進り、金の値が実際し、強いては、一般である。
「は、一般である。」
「は、一般である。

百

千

(10)

その原因、實相、歸向

生

世界經濟の混亂

0

上に下落してゐるもの 「銀紙に見え識物質も

はせるさ世間が大戦を いなるさ世間が大戦を はせるさ世間が大戦を はせるさ世間が大戦を が変にお が変にお が変にお

一語な (大学の一高銀行同事盃買 (大学の) (大学の

二一十十八月月横







ターは戦に五十八端に連し、 中年 五月より一手販賞を始めた日本エ のに総大なるかを記載しての黄質が如 のに利力をである試 のには、 中年 のには、 中年 のには、 中年 のには、 中年 のには、 中年

日本エレベーター

全滿需要の八割を

取扱つた伊藤洋行

採用を

福本監查役等 十日、熊派者十二名、一萬二千百二十日、熊派者十二名、一萬二千百二 日数九千五百九 -五口、五十九萬六千五百五十

特市

況

產

優

口口

に就信がに順敗既別は三月港の武高一千二百九十四日、出資金五十 融脈は九十三組、三百十六名、一

新競歌

引寄引寄引寄

場電報公 ij

大阪期 仁 限限限 東 京

查現定 京



校及關係において一き信ずる。

預金部、日銀の引受けとして

發行限度や更に擴張

租税全般に亘つて

、改正を行ふ

であるがその態度は不均一が里干 のは機艦隊の二百二十三人である

七十八萬四千四百三十七人にもて 縣四萬六千七十六人を記録に 融際 大阪、兵庫の騒像 人で人口千人の獣地は三人の割合 でいづれも一葉人以上、最も追い 人で人口千人の獣地は三人の割合 でいづれも一葉人以上、最も追い して して というれも一葉人以上、最も追い して しょうがその態度は不均一が里干 のは機艦隊の二百二十三人である

標金の軟弱に

鈔票强氣配

おい

Vi

お米の

米穀商 ◆ 志摩 は 御用命は

七十八人にして人口于人に禁し

內國直屬調查會設置

海軍異動

進級の分

群呼を**變**更

藩海線特產出廻

ハ十五萬噸の見込み

※続に内定した野電機左の如くで 九日から三十一日の三日間溶軍省 九日から三十一日の三日間溶軍省 大日から三十一日の三日間溶軍省

部分をなすものである。「総合か総つた」でいったその叛政策の重要なる」「総合か総つた

豫算查定交涉

下旬貿易

五百十六戦の出避りが摩擦されその他高樂、小豆。雑穀等を合すれの他高樂、小豆。雑穀等を合すれ

な態化で大豆だけでも三十萬八千な態化で大豆だけでも三十萬八千

も相當の手持品があるさ見られ 早晩新物さ共に市場に賢り出さ からうさいはれてある、尚本年 の値段は現在大豆百斤につき六 元見當で昨年の九元に比も三元 方の安値を示してゐる『奉天電 話』

出超

一千萬圓

の他高麗 / 「窓に八十五萬六千八百十一月 多きに上る見込みで窓房でもその。 一方本年の特産界は漸落の傾向 る露支約優に綴され一時出廻り る露支約優に綴され一時出廻り る露支約優にるなが昨年において のであるさ

大會

政友四國中國

| 國大會は一日午前十時より廣島市 | ハックション……

正確でいかん、こ、「寒

大豆低落

ました。 和洋料理 一浪

よせ鍋、すき焼

强

親玉

うがどうも文官の伝ったものはて日程は関東戦略の伝ったものだと

を振場を表現するこ共に保護衛 へて統談ある選用により所謂公 へて統談ある選用により所謂公 なは鬱果者の神経偏重なも避け生上の取締なも完ふするにあり らの見地から経跡に純粋の市響の力であればらんさ思いまずが私はこれ どう改善すべきか 入連中央卸賣市場

關係各權威の座談會の

か、暖に参崴ありさするもそんか、暖に参崴がりさせるもそれが、暖に参談がりさするもそれが、暖に参談がりませてから標準であるまではてから標準であるます。それで現に衝突から標準であるませ、それで現に衝突から標準である。

考りは Cないこいふ 総識に 郵ぎ では 合此 覧一部に 勝りこそすれ

放動を知りたいものです

一由これは粉來の問題ですが大

食料品を纏めるやうになりはし連の市場も内地のやうに続ての

料輕減は賠償金の多寡さ賠擦なばなりません。そしてこの手數

順調に進捗 井上藏相閣議に報告

西北、四川兩問題で 奉天南京意見齟齬 早くも兩派間に暗影

日下 郡一箇人の意見を申上ぐる笠原 おいく 出來るでせう

無配當は内定せず

景氣は明春邊りから出やう

利下げ

江却々困難

それは皆さんの意

って信用を高め手敷料の聴波をの養成も期せればならのと思ひの養成も期せればならのと思ひ う、その発 とかしまでは、 一つに ながありはしないでせ ながありはしないでせ ながありはしないでせ が脱要でせず、最後 べぎに現在は確菜 扱ってるますが野

国ります、駅舎にするか、駅舎にするかは内容によるべく、路舎にするかは内容によるべく、路舎にするからうご者へら、 ちものであることを要し、出て ちば混合は出してすぐ適用され まれ なやうな元和さで大野左の如き車 特種の汽車で水連したがハチきれ 発観察中のさころ三十一日午後五

一八五五



來連した 宮尾東拓總裁談

丸大小な利便ばへ使

東北各軍出版を利用し廃職軍 一、東北各軍出版を利用し廃職軍 一、東北各軍出版を利用し廃職軍 一、東北各軍出版を利用し廃職軍 を設定の後期をはれ着服する繁悪を制 によってるたさ 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 一、軍費五千以上を着服せる者は 割を削減 俸給費

海軍省議

重要問題を協議

内地高につれ

市

況二

H

當市も堅調

振った軍令

出動奉天軍の

帝國農會豫算委員會の決定

減俸氣運擴大せん 「東京一日愛電通」※軍では二日 年後二時半より省内に含語を開き 安保海根、小林次官以下答局長出 に 和充計書問題

につき協議する處あった 、新規要求の削除に對する復活、年代職業に對する復活要求の件、全に對する復活要求の件、利免計畫問題

朝鮮の現住人口 第二次異動

「東京州一日登電通」作務教は今 で行ふはすで理職来最長期田正昭 た行ふはすで理職来最長期田正昭 氏をチエツコスロヴアキア公使に 低じその後任は聯朝中のポーラン ド公使機島職氏を持え、現ワシン

一千九百三十三萬人

内地人は四十八萬八千人

有期徒刑に處す【撫順電話】

見られてゐる

道府縣農會の政際地位が一萬五千国の財産者本會議に抵出した

智一割削減の経験論の経験論の経験論の経験論の経験論の

支那の債權國會議

本月十五日頃開催

天津白國租界

大阪三品醍調に

大阪三品の大引は耐場等に比し常 展百三十五国八十銭と一国六十銭 高五月物百二十五国四十銭と六十 5至調を辿つた 銘柄約定期 値 段 個數 部前二月限二三十七四 二〇 同一三月限二三十七四 二〇 常市も聢り

ぜんそく治療 學能 松尾 以 學能 假三丁目

大連市岩峽町六十番

洋鉄各色燒磁看板 色彩珠神 金属製高級看

張所開設

支店 東京市芝區爱宕町三十三八 出張所 名古屋·久智米·京城 看板は

「別面都是也相二村」 (日曜日) な象君のお話をいたし アッソノッソと散歩してインド象が町の中を さい、今人によく馴れ でれる。 の高異をごらんな が、とうんな愉快をうにし おさなし んがやさせたりしい物を運ばせたりに象を 象とアフリカ象 一 お父標に連れられ が表示さん 類があつ 賞 い象で、 、 後脚で がごに居 子供たち ますから ふのは 童 T 大へん氣が荒く、なか なさい 大へん氣が荒く、なか なさい ちずる 氣のあら 解釈のなめに苦みながら、似の上 大郎さんが一人で懲罪を振いて 太郎さんはそれを見るさ、根が 話 それは成る日の少法のここでも お 馬や牛の代り やさ 語 選外住 1 ア 作 んなかか カ象ご 母く寒て楽なさい」こか時にななしたなんだつてそんな様い観動の花 御覧になるこ 足でふみつ アフリカ象が身動 右の寫真をごらん 人をなぐ あるさ をの戦、太郎さんは安に除って をの戦、太郎さんは安に除って をの戦、太郎さんは安に除って 年記念の事職會を職くが當日は今 三日の職日に取り 午 前十 分から 年後三時まで教育戦語頻要四十周 年後三時まで教育戦語頻要四十周 日本の第一日で ことに大切な道具で、 も、水を飲むのも、敵 も、水を飲むのも、敵 を戦ふのも此の鼻が大 此の鼻は象に取つてま 最い鼻がありますが、 象には自由自在に動く してない キテルククイタキノレニマ るとサッ がこの鼻をふりまわ 岬明高女の りのやうにころげて 象とちがつて中別らすのですが ませ 一番こわいのは へんちるのも イヂワ つけると、 いろ 三兩日 のあ ーキ、栗おこは、なごな一般来観 者に實質を別て提供するさうであ 来で見るさ小光はやはりが、店でのか、太郎さんの姿を見るさ、 たのか、太郎さんの姿を見るさ、 ので、お飾も洗はの先に激覚に脳 めると、夕べの小犬の事が心脏な ので、お飾も洗はの先に激覚に脳 ーキ、製おこは、などな一般が を基礎こもて作った大豆コート うに」さ戦機にお職のもてやすみ 大郎さはは独る時 三、ダンスへ花の精、パラ 開會の辭を 二、編唱〈ちんちん千息〉 がチョット出来さうに見えてなかくくむづからい、この逆立ちの上手なお機さんはアメリカのネッド・ウエー・パーン海路機関所で毎日熱心にダンスのおけいこか値けてゐるフィリス・ウイコフさんで、有名な少な舞踏彩です。 騰よりも他の好いお友婆になりま 學藝會プログラム んなこごが 來ますか 松岡 雪子 九、うかれだるま 五、ピアノ協類(ソナタ)
六、英語對話(選近)
一、四年
十 一、獨唱(夏家河子) 一、現況より見たる滿洲經濟生活の合理化 五松 林 もづの合理化 五松 林 もづ はお父標さ共に、郷天の自分のおとこ云ふのは、太郎さんの非體がこ云ふのは、太郎さんの非體が 一〇、邦語對話(凋落の 時が來ました。 閉會の しい別れなしなければならないだが太郎さんは、軈てチビ公さ るので、生れ付き実體の弱い大手に公主毎日外ばかり励題つて 太助さんは小大にチピ公さ名を 第二 、対大になって行きまし 十三名 五 十五名 九 名 へ來! 本郎さんは泣 になってゐる。 一枚の木の札を見付けて来るさ、 が、郎さんは何處からか、小さな 水郎さんは何處からか、小さな からない目が来ました。 「チピ公、本 閉合の辭 奉祝音 口 りました。 チンパノイヌデス ドウカ 部(四)歸條、沙河 事務所で取扱ふさ 修學校職合出版の 和國民歌、朝日五男 ビ公も何さなく悲 お月さん(ロ)お月佐町公二女佐町公二女 世際によって三日 0 銀の月夜(ロ)早睡日本福四女 一変一女の月へつ居 ムた時めるころ 日協和會館で アイサッ くチビ公の處 コンニチ 一男の舟へロンれ 志 院に登表帯みの聴賞電話左記入選 第に黙し本川夫々賞金を養送した 歌車の後から、太郎さんが書いて付 けてやつた木札かぶら下げて、自 館の前を走り ◇遊びに出る金魚の費の大連市外老虎雞太田久供 ●曠野の春会賞 車の窓から鮭を出して、数しくハ んのお父様を乗せた自動車は、旅せまつて軈て太郎さんさ、太郎さ げに離れてしまひました。 公の事が高れられないで **みんなそろって** 懸賞童話入選 的かて 赤かて みんなそろって おいで またすぐしましよ さあさみなさん みんなそろって だが次第に自動車の速力は早くカチを振りました。 おうえんだん おべんさたべたら うんごうくわいよ 自分が書いてやった水札をやはど公は今でもびっこを引きなが が 松林小學校二年 記郷 童 びつるか (イ)寒い日(ロ)鬼追び (不)幣(口)登山、沙河 太田 久代 津々見政俊 謠 下天 資本金金千萬圖 味風の當本 告急 器 要目 | 行職、 汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据 製品(鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、 連鎖商店街に靴と履物の店 が行胸人を出して居りませんかるごうぞお電話で御他に支店や出張所を持つて居りません御に文店を出張所を持つて居りません御に文に應り ZI.Y **禁止網票** 清水履物商店 ラ 適當の温度に加減出來さず 價格もお客様の御滿足を願ふ樣 に努力して居ります 確實なる製品をモット 人は信用 絕對安全 プラインド 提供随中込次第型錄音 車ク運 監大連機械製作 店願 会株 日華自動車研究所 電機で約四段 便利で經濟

矮塊質質

製作所

春川〇川時

曹氣基時用。

電話回0丸0 支店奉天長春安東 對

野も山も全く銀世界

數日以來氣溫急に

下し三十日午

六人組馬賊

カ

y.

7

敦修变

授理換 質引軟 貸受20

南海流公

装電旅順 中語乃令

を大連一人二九番 を大連一人二九番 は、一人二九番 は、一九番 は、一九番 は、一九五番 は、一九五 は 、一九五 は 、一五 は 、一五 は 、一五 は 、一五 は 、一五 は 、 一五 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、 一 は 、

を及ぼした好く、吉林の大火災は

借りて開いた。 生徒が僅かに七人 で小學校を領事館の答言の一室を が場所を領事館の答言の一室を 借りて開いた、生徒が働か 生に後が少い上に程度が無い 生に後が少い上に程度が無い ををして関ロしたものだ あった、病院は勿論無い、外和背線に親く腕でましい機な事が膨々

事はない、鬼で夜が明けた感じで人さいはず此位盛しく感ぜられた

が「一般料には全部木材を用いて居った」 のが耐火掘崩炭が入市したのも質。 監製が錦飾しかけ などで年々二三回大 大大様の健な総では不都 では、其歌は能く した、其歌は能く した。 日本人會が正式 學校の見重 治師で御旅行の事は 何でも御用命下さい

飛撃銃々ことで降りときり見る問 三十一日は郭楽みぞれ、戯さ歌歌 して降りつゞき午後三時頭よりは して降りつゞき午後三時頭よりは その煙炭はにはかに緊煙を吐き出 に一酸の銀世界で低し木々の橋に に一酸の銀世界で低し木々の橋に が表した。

より出品したる書画を管地闘者館大石橋を始め灌城を口等の有志家 書畫展覽會

明治節拜賀式

十一月二日國東殿地艦で家庭霧座った鱧の部午後二時より午後五時で大豊の部午後二時より午後五時 家庭講座開催

可愛 子子供服が一 3 旅 が順当に入る が開きませる。 ができませる。 ができませる。 ができる。 がでをできる。 ができる。 ができる。 がでをできる。 ができる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 がでる。 フジサービス 洋 行

引立の程が上げい ある。「四、一十五段」
一大連二葉町10四番地
大連二葉町10四番地
大連二葉町10四番地
大連二葉町10四番地 乳もみ、鍼灸、熱氣、太陽紫電氣・一般マツサージ

新音器修繕は 専門のヤナギャへ 東門のヤナギャへ 大連市浪速デバート内 電二県交第多上鉄心ます **皮**軟梅毒 肾 病 病





年五和贻

張作霖氏陵墓 北野県の慶野は艦の屋舎 で既に内部の工事は帰ご完成した 世郷武も明年中には執行出來る見 「大みである、なほ常都中の聚代樹 「大みである、なほ常都中の聚代樹 「大みである」、なほ常都中の聚代樹 「大多である」、なほ常都中の聚代樹

平 するさいふので在郷液灌漑を設置がそれが設置された鳴には少くさも二 されが設置された鴫には少くさも二 さ 近く開業

日共展覧のみの素人蹴虁を読みるがそのプログロムは左の如くで刷 三曲合奏、昭和ダンス、中三番

ので郷を取押へるこ同時に于の大知り旅費まで興へて職郷せしめた の処行を遂一自合するに至つた尚閣所始家大院に然て十四日午前七間所始家大院に然て十四日午前七 彼が居住さ

母報市内の機能減は容易に終態の 簡本年一月以降の機能は三百十四 機能がなく間目も二名の養生を見 名で前年は二百十一名、全治者二 た、三十日現在の機能減患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名 た、三十日現在の機能減患者は八 百十四名で前年同期は百七十七名 が學校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が母校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が母校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が母校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が母校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が母校関係の患者敷、減名は左のの十六名に地も三名を増もて十九 が一下のもの。 とってある。 とうことをは、バラチアス二名、バラ と寄宿生と腸チアス二名、バラ

豫防に腐心

が、或は今後年週一回警員の總跡が、或は今後年週一回警員の響談を行び全市に駐り患者の早期登別を行び全市に駐り患者の早期登場を行るの注意、一 低し種々な心を重れてゐるたいこの意識しあり、三上 傳染病の猖獗に鑑み長春署衛生祭

柔道長春軍 寒氣襲人 營

日午前九時二十分 者数百名にて喇叭 して兩中隊に挨拶 黄炭壁裡に出養した 前九時二十七

とたが元獨立宗備隊第二大隊第三 日午前九時二十分養列車にて來聽 日午前九時二十分養列車にて來聽 を励し久留島在 吹奏響に挨拶を市客が配の送速

飯島曹長記念碑

來る五日除幕式

十版版乃

電七九 • 五五九番

湯崗子公園高地で

是非御用命御光來の程賑わしく 食料品與問屋

九條武子夫人推奨 むゆうげ着尺ピジトール服、フジザニ錦紗優美、經濟兩途を兼ねた實用吳服 入大 島 商

機 話 一 三 ハ 番 旅順市乃木町三丁目四番地

清物の素主婦の譽を

順

青

旅

順

ホ

テ

三六

t

内科性病 アツミ醫院

接替口座大連三八五四番 話 三 三 二 番 版 顺朝 日 町 市 場 內 店

家政婦 如身 刻元 確實

奏家 畜病院 電話九八〇三番 電話九八〇三番 電話九八〇三番 電話九八〇三番 電話九八〇三番

寸法 高さ 一尺七寸、巾一尺一寸五分、長さ二尺 (相と) 外に右定價の車級野破損也さる堅牢無比な構造であります (本) 大 (本 解家畜診療 黑髮家畜病

特許野間式スト

意

番 大旗四 第一程纳一大旗四 第一程纳一

電

話

t 六

主

石井家畜病

筑後屋 首店

十周年報恩紀念

洋服類高裝

の町河三市連て

X外内 科小小兒科

吹雪中に ケ中隊 移駐 市民出迎 天 大委員會にも造出して見たが結局 大委員會にも造出して見たが結局

强盗の自白

た遼寧省防軍騎兵第五團第後奉天驛ホームにおいて建

終了した、可憐な所では効身組織をい、動物質、キーヒー、翠

長春美術展

平に移駐する事さなり第十六列車別頭第一中隊の一部は三十二日蓋

御折御茶むけずかしたがいます。

二個に付

券詰し

早速御配達申上げます

其の他御注文の節は多少に拘らず

守備隊歡迎會

▲三段電園養雄、川副孝▲二段 森田武、宮原良一〈鮮泉〉▲初段 森田武、宮原良一〈鮮泉〉▲初段 本下峰雄 加区一行は二日午前八時中列車で

を容んで激期たる意

領語り避きも

し夜間の寒さは寒災路だしさを贈

庭球部映畵會

に御に 慶呈 と愛二至阿 に順十極時

の日廻り、御醫者ごつこなごで

の配って、 などで其 の光草の 光草の

十一月二、三の兩日長春地方事務 一田美術展覧會を開催する、二日は

の結果ならすことであること

▲ 宮尾東拓總裁 冊日邁奉熊岳城本溪湖へ 本溪湖へ 本溪湖へ

一日北平へ

影烈の各般は耳り傑

の配線を集めてあり、出

勅語捧讀式

岳

の音樂會を能すべく目下盛に練智の音樂會を能すべく目下盛に練りの二日に分れ、時感地に來る十一月三日の明治節を下し滿緩ケラブに於ての明治節を下し滿緩ケラブに於ての一日三日の音樂會を能すべく目下盛に練習の音樂會

北浦の映教

観魔時間は午前九

記念碑を

寄贈

一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一を、 一を、 、 一を

本

溪

湖

既報の軍隊の移駐交代は十月三十

海陸鮮

物軍魚

御蒲

產海

問用

屋達鉾

井

M

守備隊の交替

守備兵

(179)

二回運信從事員慰安會を開催するから六時まで撃天麒場において第一次の飛日正午 遞信慰安會 片割逮捕 人殺し車夫

本月十三日を確立町十三番地大で が踏空の途中等平町十三番地先で が踏空の途中等平町十三番地先で

日朝北寧線にて來率 唱歌會の盛況 店 行 #

助かつた

在長春古長職路派遣良佐藤城雄氏 で見思克楽」の銘を頼んだ記念 るが、記念のため窓町小県校々庭 のため窓町小県校々庭 神一基を寄贈した 2000年の金

難に秋季大演習のな 三十日附左記禮 軍隊の謝狀 が長短に十月

な総合に要者の機合さし越術趣味 を現の時期さし意義ある記念會の が能してあった

昨年よりも多

死亡者も十九名

患者

守備隊の

交替 守備除來

一中隊は卅一日十二時卅三分着十 大列車にて來照したが緊踬には指 人及び一般居住民等出迎へ爆竹の 公學堂生徒、觀案管督所生在鄉軍 公學堂生徒、觀案管督所生在鄉軍 正在 一中隊は卅一日十二時卅三分着十 新 こなった獨立式備歩兵第三大隊第四級(今回警地に駐ぎする事

教育報語態養四十周年記念式は水 學校に然で三十日左記顧序により 軽厳に繋行された 年前九時三十分國旗報揚式午前 中能記念式午後一時より生徒唱 歌音 勅語記念式

和洋食料品、生野菜類酢、罐詰、瓶詰、煮糖、茶物、菜物、菜物、菜物、菜物

石

事

製造元昭和



金旗拾

錢

佐海屋見丸 京東 舗本能石ワツミ〇

0K+0:30 NO 50

ム爺レブ

卜板

永井婦人

心醫院

電話三六六六番

太智 永

五

十年

この好球夫の血を受けて育つた現

変り職後ョーロッパの衝撃は益々しの職力は置べき職刑各国に侵入し

国民生活の不便は多大なものである。 と伸びたのだから風機験髪その他

子の意氣を蔵 洲線湾Sがそのは 0 分が會長さなり、

職一た光子米亡人の血の

祖和五年、川せれら

世一月號をすぐ御覧下さい。 世一月號をすぐ御覧下さい。 世一月號をすぐ御覧下さい。 中央信越兩線

電井澤九七ンチ除の機響があつた 「東京世一日登電通」や駅中央線 が近三センチ、(機の) ではまり十五センチ、小 ではまり十五センチ、小 ではまり十五センチ、小 ではまり十五センチ、外 ではまり十五センチ、小

番社戶數

糖の被害も大なる機様で響は例年 を地の電信電話の企業に関する、 を地の電信電話の企業をは残かを を地の電信電話の企業をは残かを を地の電信電話の企業をは残かを を地の電信電話の企業をは残かを を表するを、 なのででは、 を表するで、 をまずるで、 をするで、 をなで、 中車舞臺で卒倒

六大學リ 順位豫想投票 グ

続けた秋季リーグ戦は独帝戦 一六大學リーグ戦闘婦以來の混

を職するこころさなり早酸同型に して、ナント目指した法政チームの でいの影が閉ざされ苦節十有六年 では、ナント目指した法政チームの

本 て第二位さなったが、常地連鎖部 応ではこの興味あるクラスの順位 態態投票を事集し去るニナー日投票を総切った部果膨然人類を呼び 千七百十三名の大多数の應募者を 得るの艦猊を呈した。

* * * * * *

愈々 シーズンとなりました!!! 防寒の御用意に本年も一層の御引立を出 ール、獅毛皮裏、アストラカン帽子、外套類大山通 流行と實用の粹を聚め新入荷

最廉價で優秀な品ばかり

このシーズンに入りました 例年の通り多数七皮着荷致し 即仕度は即充分ですか?・

本で人の生活は現代東京港の尖端 雑物が外にあって好大學を置み、 名響を傷つけなかつたのである。 るる

れた者は皆未亡人の世話を受けて サデンホーフと光る 年後からをはるまる

常能名品代

見いりんりいる

今年は意外の暖かきであつた瓦房 底にも卅一日正午暖から西北の殿 歌き繋り線温着るもく下降して付 響が降つた、佛と昨年に比較する き初撃は中ケ月連れたこ『瓦房店 瓦房店に初雪

は 十時より中郷式に依り 等島民政署 長、田中市長、健石滿磯郷裁其他 長、田中市長、健石滿磯郷裁其他

を がの 像定でも 地板 です三十

日朝を斯し行脈は

察除於六百名、步兵

则二門、通信班一、

小學校公學堂長の

優遇案卅

日決定

差し當り推薦されるもの

州内外で五名位か

明治節拜賀式

大連民政署では十一月三日の明治一明治郡當日大連神社に於ては午前

五名低で若も揺戯されるものさす ちうさ云はれてゐる 医すずき とた、差し壁り関東婦公 した、差し壁り関東婦公 した、差し壁り関東婦公 した、差し壁り関東婦公 した、差し壁り関東婦公 した、差し壁り関東婦公 と、古賀底殿第二小學校長および関東州公 と、古賀底殿第二小學校長、結局 をの呼覧が高い、保時期は優遇令 と、古賀底殿第二小學校長、総局 をの呼覧が高い、保時期は優遇令 の上内閣の認可指令が必要さする の上内閣の認可指令が必要さする の上内閣の認可指令が必要さする の上内閣の認可指令が必要さする 関東 | 第一条 | 一条 | 100(十) | 100(十) | 100(十) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) | 100(1) 大連 支那地圖展覧會(十月三十日から十一月二日まで) 十日から十一月二日まで) 本天 支那美術及び凶奴に関するもので、三兩日)

力を職能し、無職は先月十八、九兩日 在 安地級派左の通りである 登場 浮世籍及び我社殿告處出 月三十日から二日間〉 皇后陛下 大部分は午前六時カツック社に向かり、大部分は午前六時カツック社に向かり、なる被智生部隊のかかく整備中、なる被智生部隊の神の上の一大部分は午前六時カツック社に向かり、大部分は午前六時かり、

際式を得ばせられる電一日個出し、東京一日發電通 皇后陛下には、一個大学の大日院の吉日は野戦の姫く乗る八日院の吉日は野戦の姫く乗る八日院の吉日は野戦の姫く乗る八日院の吉日は野戦の姫く乗る八日院の吉日 御日取仰出さる まく、織田司会官の總指揮にて討ちば解除総轄生一個小隊が離りに 大部分は午前六時カッツク社に向 伐縄攻撃開始されたが。間もなく

支那警官が 兇蕃反攻

墓標を盗む

月三十日から二日間と
関するもの(同上)

おおり十二日送入職者逃職さ送かあったので本年から銀年十一月

御內着帶式

確るので一部から脚間盛更の希望所に得けれる武舎測問は監察時に 戦年十一月一日から一週間全國一

丹世紀 及び古本風影會 會を開催し、安東は既に先月十二 補洲の讀書週間

田彦二部小殿はロードフ社田殿と高井、宮旭殿氏の指明進し八時頭はロードフ社

陣地を築き

兇蕃防禦

勅諭煥發四十周年記念と併せ

既に各地で開催さる

機能事は支那際に対していた。 はな対しなが、 を対しない。 を対しなが、 を対したことが、 を対した。 をがした。 邦人墓地で

公安隊が鮮人彈壓

不逞鮮人が上肥地に潜入したご 鐵嶺署から警官急行

のあり、鍵鞭に接した破破響では、操であるが臨避地のことして詳細、は対して能密施電腔を加へ観察、 解へられむ恥崃には不響際一味のに対して能密施電腔を加へ観察、 解へられむ恥崃には不響際一味のは対して能密施電腔を加へ観察、 解へられむ恥崃には不響際一味のは強力を開発したことを表現した。

ない。 ないでは、 ない

(土)

州內小學兒童書圖展覽會

滿日講堂でけふから 木賊會洋書展へひと宏 開く **坦流挿花會**

節邦賀式を懸行するがその式次は

左の通りである 年前十時署員一同豪集、署長以下一個殿 東げ署長の發撃にて天皇陛下萬 最三唱▲退散▲午前十時三十分 成三唱▲退散▲午前十時三十分 大の通りである 本り同十一時十分迄の間に於て 本り同十一時十分迄の間に於て 本り同十一時十分迄の間に於て 本り同十一時十分迄の間に於て 神社でも祭典 奉祝菊花展

後七時代市社會館で催される智の明治部製機療花展覧會は三日午の明治部製機療花展覧會は三日午

霧社生蕃事件後報

討伐隊總攻擊開始

蕃社に火災起り延焼中

自三十八人、肚丁五十

社六户、男十人、女十 五百九十二人、肚丁百七十二月、男六百

從來の統治方針 何等變更はせぬ 松田拓相閣議で報告

一、蘇社前面の兇器自約百五十名 | 破滅雨の炒め線定の転煲行動全く十一日午前一時三十分陸軍省登電 | 午前七時二十分駅所ぞ電=鞍社が「中二日午後十時十四分登、三 | 『東京三十一日餐電通』三十一日

討伐隊の兵力

職)獨口首根以下,假選、田中、町 十時代より省株留

郎に 原東京州一山 原東京州一山

日曜の催物

けふの滿日講堂

海原は免訴か

蕃刀を以て

って行く響がない、境國語りでな一前に比して歐洲では國癡が三千聖

巡査を斬首 難者語る

要迄賣つた强か者

花大會

御共鳴下さいまして一層の御引立を御願申して新しい品 安い品 と復興の意氣にした事を御詫致します。今回漸(修築を了した事を御詫致します。今回漸(修築を了た事を御詫致します。今回漸(修築を了た事を御詫致します。

交際の都守中に繋がをたぶらかし 大連市東寺島巌略家屯駐住宅巌仁 日場 安道流 大日本群芳會 紀念の為め開 紀念の為め開 一(一般縱覽歡問 一(一般縱覽歡問 一)

本上報では出一日午後宗を追すした。 本上報では出一日午後宗を追すした。 を信むした、協同人は前杯二被、 で友人の李某に戦り渡しその最出に で方人の李某に戦り渡しその金 といるといるといるといるとたとかも

手

卸現

賣金

整井試錐工事應需地下水の調査艦定

丁鑛業所

玩具女具

毎日含書店

闡話八八三八番

五時二十分歌舞を座で上渡中の段を手本忠臣総四既目 短記明・ 薬師寺に流した中東が楽が高に響き込まれた中東が突が高いたので、個分七十一様の高齢に動きなった、「個分七十一様の高齢に動きなった。「個分七十一様の高齢にある。」

五月回

潘北德 补 休

₩.º.₩

茶碗蒸

天主公教會バザ

御婚禮用御履物は多

Ξ

***************** 電話五七一七番

値段はかつてない破格の大廉價

毛皮帽子金三圓五十銭り毛皮ショール金八圓より 子供防寒外套、帽子質、男女狐、カワウリ、アスタラカンへ、其他諸毛皮、男女人のより、東のは、男女のないのでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、一大のでは、 にて冬の仕度 阿部懲役二年

*一、二日の二日四 対於觸臥 一 壹箱

東京風菓子謹製 賣 三十五錢

酒類 食 000

日本各地名産

